I-O DATA

コンパクトフラッシュ型GPSレシーバー

# CFGPS

## 取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

94064-01

## 【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan.  We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。


- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- 「プロアトラス」は、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
- CF+は CompactFlash Association の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

# はじめに

このたびは、コンパクトフラッシュ型 GPS レシーバー『CFGPS』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

## ⚠ 警告　必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために次のことを必ずお守りください。

### ●安全のための注意事項を守る

安全のために本書の「注意していただきたいこと」（6～11 ページ）をよくお読みください。

### ●道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意を怠るなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因になる場合があります。

**※ 運転者は走行中に本製品を操作したり、画面を見たりしない。**

## 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。

取り付け前の準備を行います。必ずお読みください。
・・・・・・・・第１章

↓

本製品を取り付けます。必ずお読みください。
・・・・・・・・第２章

↓

添付の地図ソフトやユーティリティを起動して、現在位置を確認してみましょう。
・・・・・・第３章

## 本書での呼び方

| 呼び方 | 意　味 |
| --- | --- |
| Windows Me | Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System |
| Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称 |
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System |
| Windows CE | Microsoft® Windows® CE Operating System |
| Windows | Windows Me、Windows 98、Windows 2000、および Windows CE の総称 |

# もくじ

## 1 ご使用になる前に

必ずお読みください


| | |
|---|---|
| | 2 |
| | 4 |
| | 6 |
| | 12 |


## 2 取り付ける

必ずお読みください


| | |
|---|---|
| | 16 |
| | 17 |
| Windows Me | 22 |
| Windows 98 | 25 |
| Windows Me/98 | 29 |
| Windows 2000 | 31 |
| Windows 2000 | 35 |
| Windows Me/98 | 38 |
| Windows 2000 | 40 |
| Windows CE | 43 |

# 3 GPS機能を使う


[zi:] for I-O DATA 46

GeoSeek GPS 57

GeoSeek GPS 67


# 4 付　録


86

99

100

101

103

104

105

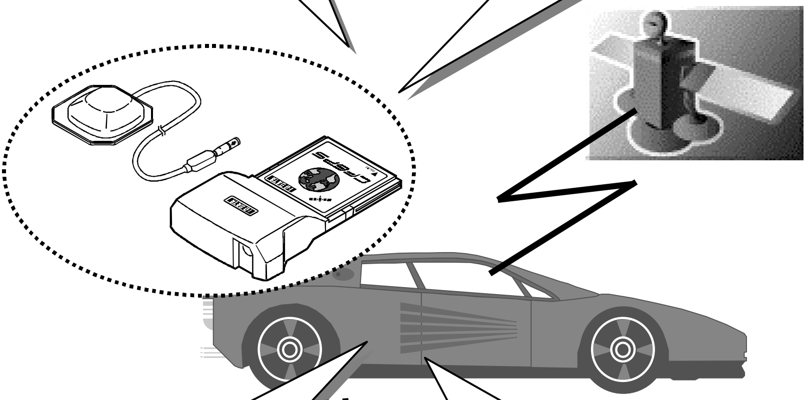
# 本製品のご紹介

## ＧＰＳ衛星対応

ＧＰＳ衛星からの電波を受信して現在位置をキャッチ。
車では同乗者用ナビゲーションとしてお使いください。

## 専用地図ソフト添付

地図では定評のあるゼンリンの地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ」に準拠した「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」を標準添付。買ったその日からカーナビゲーションを楽しむことができます。



## モバイルに最適な設計

アンテナ内蔵のため、ノートパソコンがすぐにカーナビに変身します。外付け GPS アンテナも小型軽量な上、防水・強力磁石付きで取付けが簡単。モバイル重視の設定です。

## 豊富な対応地図ソフト

ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ、AtrasMate5 for Windows、プロアトラスシリーズ、スーパーマップルデジタルなどの人気地図ソフトでも GPS 機能を使用することができます。

# 1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。


## 箱を開けたら　2 ページ

箱の中に入っているものを確認してください。

## 対応機種と動作環境および対応地図ソフト　4 ページ

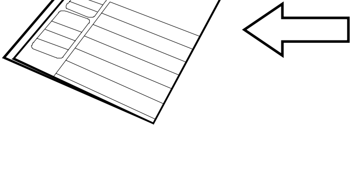
対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか、確認してください。

## 注意していただきたいこと　6 ページ

取り付け時や使用時に、してはいけないことなどを説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

## 電波の受信と測定誤差について　12 ページ

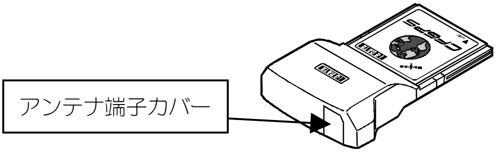
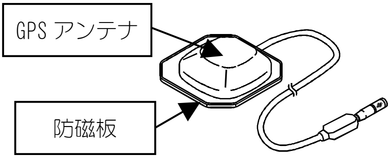
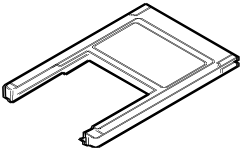
現在位置を正しく測定するために、本製品の使用、および外付け GPS アンテナを設置する前にお読みください。

登録方法は、添付のユーザー登録カードをご覧ください。

# 箱を開けたら

## 中身を確認してください

| 内容物 | 詳細 | 個数 |
|---|---|---|
| CFGPS |  | 1個 |
| 外付けGPSアンテナ、および防磁板 |  | 1個 |
| PCカードアダプタ（CFMD-ADP※） |  | 1個 |
| サポートソフト | CFGPSサポートソフト　CD-ROMディスク | 1枚 |

※CFMD-ADPは、マイクロドライブ専用PCカードアダプタですが、CFGPS用PCカードアダプタとしてもご使用いただけます。

| 内容物 | 詳細 | | 個数 |
|---|---|---|---|
| その他 | 取扱説明書（本書） | | 1冊 |
| | ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA | CD-ROMディスク | 1式 |
| | | クイックリファレンス | 1枚 |
| | ゼンリン　ユーザー登録カード※1 | | 1枚 |
| | ハードウェア保証書（CFGPS用/ CFMD-ADP用） | | 2枚 |
| | ハードウェアシリアルNo.シール※2（CFGPS用/ CFMD-ADP用） | | 2枚 |
| | ユーザー登録カード※3 | | 1枚 |
| | 安全で快適にお使いいただくために | | 1冊 |

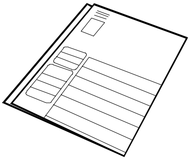
※1 「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」インストール時に必要なシリアル番号が記載されています。大切に保管してください。万一紛失した場合は、株式会社ゼンリンへご相談ください。

※2 ハードウェアシリアルNo.シールをハードウェア保証書とユーザー登録カードに貼ってください。

※3 CFGPS、CFMD-ADPのユーザー登録は、1枚のユーザー登録カードで行えます。

万が一、不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**ユーザー登録は済ませましたか？**



**注意！**

**箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。**

# 対応機種と動作環境および対応地図ソフト

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

| | |
|---|---|
| 対応機種 | intel i486DX 以上の CPU をもち、CF+™ Type II スロット、もしくは PC カード規格 Type II スロット（PC カードアダプタ使用時）をもつ、以下の機種<br>● NEC PC98-NX シリーズ<br>● DOS/V マシン<br>（弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。）<br>CF+™ Type II スロット、もしくは PC カード規格 Type II スロット（PC カードアダプタ使用時）をもつ Windows CE 搭載機種※1 |
| 対応 OS | Windows Me、Windows 98（Second Edition 含む）、Windows CE※1、Windows 2000※2 |
| メモリ | 32M バイト以上（64M バイト以上を推奨） |
| CD-ROM | インストールのために必要。 |
| その他 | 地図上で現在位置を表示するためには、本製品添付の「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]IV for I-O DATA」など、GPS 対応の地図ソフトが必要。 |

※「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]IV for I-O DATA」を実行するための追加条件

| | |
|---|---|
| CPU | Pentium 以上 |
| メモリ | 32M バイト以上（64M バイト以上を推奨） |
| ハードディスク | 空き容量 500M バイト以上 |
| 対応 OS | Windows Me、Windows 98（SE 含む）<br>Windows 2000※2 |
| ディスプレイ | ハイカラー 16bit 以上、800×600 ドット以上 |
| マウス | Microsoft Intellimouse 対応 |

**※1 Windows CE 搭載機種では、本製品添付の「CFGPS サポートソフト」および「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」は動作しません。Windows CE の詳しい情報（対応地図ソフト、対応機種、動作環境など）については弊社ホームページをご覧下さい。**

**http://www.iodata.co.jp/GPS**

**※2 Windows 2000 をご使用の際は Administrator 権限でインストールしてください。また、アプリケーション使用時もインストール時と同一ユーザー名でログオンしてください。**

## ■本製品が対応している地図ソフト

本製品は以下の地図ソフトでもご使用いただけます。（2001 年 8 月現在）
（使用可能な地図ソフトの最新情報については、弊社ホームページもご覧ください。）
地図ソフトに関する詳細は各地図ソフトメーカーへお問い合わせください。

- ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ（ゼンリン）
- ProAtlas 2000（アルプス社）
- ProAtlas 2002（アルプス社）
- スーパーマップルデジタル（昭文社）
- AtlasMate5 for Windows（住友電工システムズ）

# 注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

**警告** 以下の注意事項を守らないと**事故**などにより、**死亡**や**大けが**の原因になります。

●

走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。使用するときは安全な場所に車を止めてから行うか、助手席の搭乗者によるナビゲーションとして使用してください。また、歩きながらの使用も事故の原因になりますのでおやめください。

禁止

●

本製品は防水構造ではありません、雨中等、水滴のある場所で使用すると、故障の原因になりますのでおやめください。

禁止

●

・運転の妨げになるところ
・同乗者に危険があると思われるところ
・不安定なところ
・灰皿の上
・熱くなるところ
・直射日光のあたるところ
・前方の視界を妨げるところ
・パソコンの画面がフロントガラスに映り込むようなところ（夜間）

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

●

本製品の変形・故障の原因となるだけでなく、使用されるパソコンによっては火災や故障の原因になります。
その他の使用環境については、使用されるパソコンの取扱説明書に従ってください。

禁止

●

アンテナやケーブルの引き回しによっては、運転や移動の妨げになる場合があり、事故の原因となります。また、ドアを開けたり、車を乗り降りするときに、ケーブルにひっかからないようにご注意ください。

強制

● GPS

車外に取り付けるときはボディの金属面に、車内やその他の場所に取り付けるときは両面テープなどを使って、しっかりと固定してください。
走行中にアンテナの位置を変えたり、アンテナを固定しようとしてハンドルから手を離したりすると事故の原因になります。
なお、アルミやFRPボディの車などには磁石では取り付けられません。

強制

● GPS

走行中にアンテナの位置を変えたり、取り付けるなどして窓から手を出すと、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

●

火災、感電、動作不良の原因となります。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

分解禁止

●

パソコンや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

●

ショートによる火災や感電の恐れがあります。

禁止

**⚠ 注意** 以下の注意事項を守らないとけがなどにより損害を受けることがあります。

●

GPS 信号自体の測定誤差が出たり、パソコンのバッテリー不足などで現在位置が正確に確認できなくなり、事故やけがの原因になることがあります。本製品は、専門的な計測器としての使用を目的とした開発・製造はされていません。

禁止

● GPS

外付け GPS アンテナの底面には強力な磁石が付いています。防磁板をつけていない外付け GPS アンテナにクレジットカードなどを近づけると、カードが使用不能になる場合があります。

強制

●

正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカが指示している警告、注意事項を厳守してください。

強制

●

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。

禁止

●

シンナー・ベンジン・アルコールで本製品を拭くと、変形や変色の恐れがあります。

禁止

●

無線機器、金属物、情報機器等を近接して使用する場合は、性能劣化を招く恐れがありますので、ご検討の上ご使用ください。

禁止

●

禁止

●

禁止

●

禁止

● CFMD-ADP

CFMD-ADP の破損を防ぐため、必ず付属のキャリングケースに入れてください。

強制

●

座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。

禁止

## その他の注意事項

### ■使用上の注意

●本製品にはルート案内（音声ガイド）の機能はありません。

●本製品はACPI機能やパソコンメーカー独自の省電力機能には対応しておりません。あらかじめ、それらの機能が動作しないように設定してから、ご使用ください。

●パソコン起動中にCFGPSを取り外すときは決められた手順を守ってください。取り外し方は38ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows Me/98)」、40ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000)」をご参照ください。

●「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」のインストール方法および操作については本書では説明しておりません。添付のオンラインマニュアルをご参照ください。

●CFGPSと通信デバイスなどを併用した場合、通信ポートに負荷がかかることがありますので、ご注意ください。

●本製品のラベルをはがしたり、記入しないでください。

●本製品にラベルを重ねて貼らないでください。

●1.5GHz 帯を利用している**携帯電話などをアンテナの近くで使用すると GPS 衛星の電波を受信しにくくなる場合があります。**

●外付け GPS アンテナを CFGPS に接続しているときに、プラグに負荷がかかった場合、製品の破損原因になります。

●加熱・火中投入はしないでください。

●分解・加圧変形はしないでください。

●強制放電や大電流・高電圧での過充電・過放電はしないでください。

●電池の液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、すみやかに医者の治療を受けてください。

●直射日光・高温・高湿の場所をさけて保管してください。

●水に投入しないでください。

●異常に気がついた場合には、使用しないでください。

●使用する際には、必ず取扱説明書または、注意書きをよく読んでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

## ■修理について

●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。（105 ページ【修理について】参照）

●改造等を行い、電気的、および機械的特性を変えて使用することは絶対におやめください。

# 電波の受信と測定誤差について

本製品は GPS 衛星の電波を受信して測定を行っています。

## GPS 信号の受信について

GPS 信号は以下のところでは受信できない場合があります。本製品および外付け GPS アンテナをこれらの場所に設置したり、移動した場合は、現在位置が測定できなかったり、実際の位置との不一致が生じたりします。

●車内で天井に屋根やルーフレールがある場所
※車の屋根やルーフレールでも GPS 信号がさえぎられます。車内で使用する場合は、外付け GPS アンテナを両面テープ等でダッシュボードのフロントガラス付近、あるいはリアトレイのリアガラス付近（エアコン吹出し口、エアバックに注意）に固定してご使用ください。
●トンネルの中や地下
●ビルの駐車場
●屋内
●高層ビルの間
●高架橋の下
●密集した樹木の間
●ルーフキャリアなどが外付け GPS アンテナの上にあるとき
●外付け GPS アンテナに雪が積もったとき

## パソコンのノイズによる電波障害について

内蔵アンテナを使用して GPS 信号を受信する場合、お持ちのパソコンによってはパソコンから発生するノイズによって GPS 信号の受信が妨げられる場合があります。その場合は、外付け GPS アンテナを接続してご使用ください。

## GPS 衛星自体による測定誤差について

本製品は**３個以上の GPS 衛星からの電波を受信すると、**自動的に現在位置を測定します。ただし、場合によっては数十メートルの誤差が生じることがあります。
また、GPS 衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。

# MEMO

# 2 取り付ける

この章では、本製品をパソコンに取り付けたり、取り外したりする作業について説明します。本書の図を見ながら、順番に作業を行ってください。


**取り付け前のチェック** 16 ページ

取り付ける前に確認していただきたい事項をまとめてあります。

**取り付ける** 17 ページ

CFGPS、外付け GPS アンテナを取り付けます。設置の注意点などをよくご理解ください。

**Windows Me へインストールする** 22 ページ

Windows Me をご使用の場合は、このページをご参照ください。

**Windows 98 へインストールする** 25 ページ

Windows 98 をご使用の場合は、このページをご参照ください。

**インストール終了後の確認（Windows Me/98）** 29 ページ

正しく取り付けたかどうか、CFGPS をパソコンが認識しているかどうかを確認します。Windows Me/98 共通です。

**Windows 2000 へインストールする** 31 ページ

Windows 2000 をご使用の場合は、このページをご参照ください。

**インストール終了後の確認（Windows 2000）** 35 ページ

正しく取り付けたかどうか、CFGPS をパソコンが認識しているかどうかを確認します。Windows 2000 の場合です。

**パソコン起動中に取り外すには（Windows Me/98）** 38 ページ

パソコン起動中に CFGPS を取り外すには決められた手順があります。取り外す場合は必ずその手順をお守りください。Windows Me/98/95 共通です。

**パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）** 40 ページ

パソコン起動中に CFGPS を取り外すには決められた手順があります。取り外す場合は必ずその手順をお守りください。Windows 2000 の場合です。

**Windows CE で使う** 43 ページ

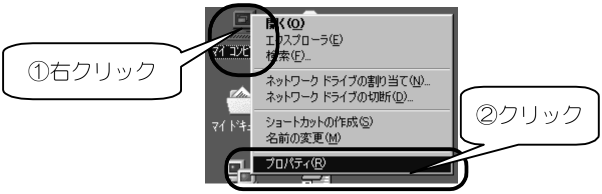
Windows CE をご使用の場合は、このページをご参照ください。

# 取り付け前のチェック

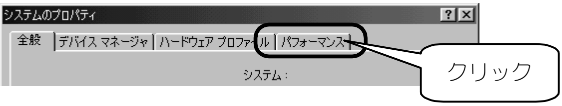
※ Windows 2000/CE でご使用になる場合は、この作業は必要ありません。次ページへお進みください。

## 32 ビットの PC カードドライバがインストールされていますか？

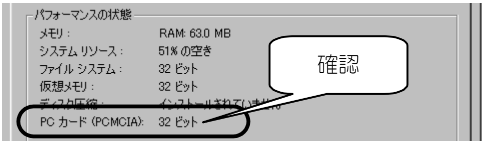
**1** [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。




**2** [パフォーマンス]タブをクリックします。




**3** PC カード(PCMCIA)欄に [32 ビット]と表示されていることを確認します。
表示されていれば、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。




**注意！**

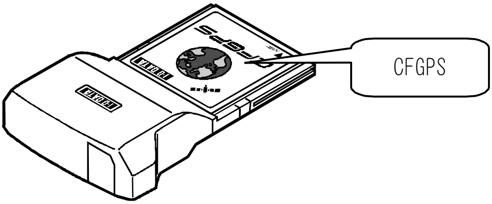
**「32 ビット」になっていない場合は、[キャンセル]ボタンを押して、処理を終了します。その後、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の中の[PC カード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。PC カードウィザードが起動するので、画面の指示にしたがってインストールしてください。詳細についてはパソコン本体メーカにお問い合わせください。**

# 取り付けについて

**※パソコンへの取付けはまだしないでください。パソコンへの取付けはインストール時に行います。**

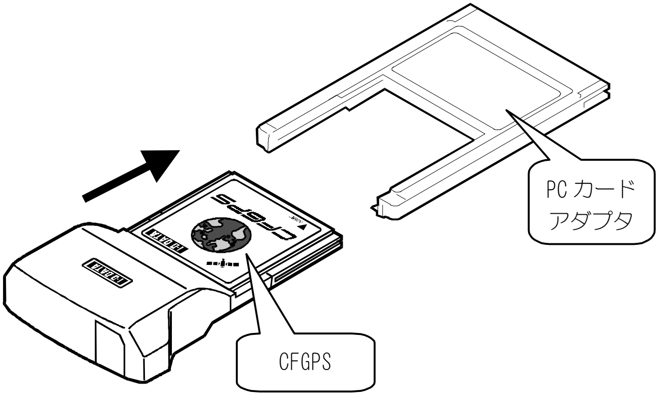
## CF+™ Type II スロットで使う場合

CF+™ Type II スロットならそのまま取付けできます。



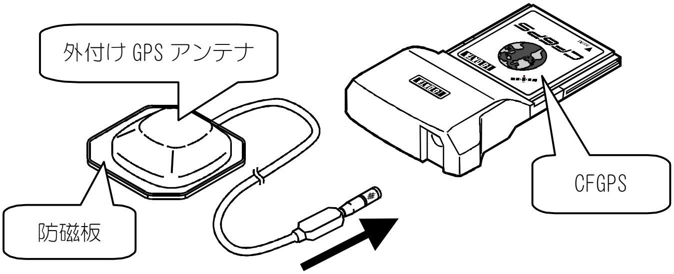

## PC カード Type II スロットで使う場合

PC カード Type II スロットの場合は添付の PC カードアダプタを取付けます。



## 外付け GPS アンテナを取付ける

内蔵アンテナだけでも動作しますが、GPS 電波の受信状況が悪い場合は、外付け GPS アンテナを取付けてください。



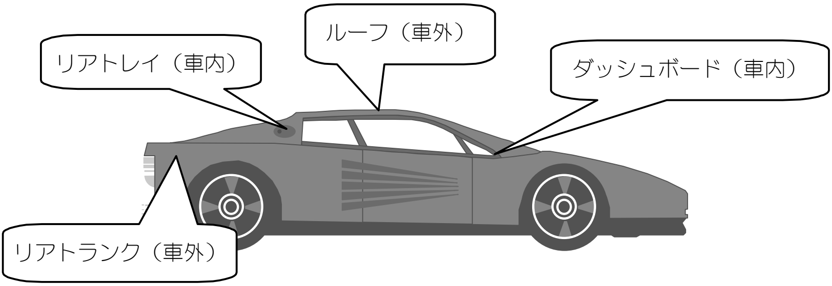

### 接続のヒント

外付け GPS アンテナのプラグを CFGPS のアンテナ端子に接続します。

- CFGPS のアンテナ端子カバーを外してください。
- プラグは確実に接続してください。
- プラグを抜くときは外付け GPS アンテナのコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。コードが故障する原因となります。

## 車に取り付ける

外付け GPS アンテナは下記の場所等に取り付けてください。



## 取付けのヒント

- 車外に取り付けるときは
  防磁板をスライドさせるようにして、外付けGPSアンテナから取り外してから取り付けます（外付けGPSアンテナの底面は強力な磁石になっているので、確実に取り付けられます）。このときアンテナから車内へ水が入らないようにしてください。
- 車内に取り付けるときは
  GPS衛星からの電波を遮るものがない場所で、外付けGPSアンテナが水平になるような場所を選び、両面テープなどで外付けGPSアンテナをしっかりと固定してください。
- 外付けGPSアンテナのコードをたるませないようにまとめます。（シフトレバーやハンドルに引っかからないように注意してください。）
- アルミやFRPボディには磁石では取り付けられないので、車内に取り付けてください。
- ルーフキャリアなどの傍に取り付けると、受信できない場合があります。
- 一部のウィンドウガラスにはGPS衛星の電波を通さないものがあります。車内に取り付けて受信が不安定な場合は、車外に取り付けることをおすすめします。

## 注意！

**・外付けGPSアンテナのコードは、運転の妨げにならないように設置してください。また、車内外でコードをたるませないようにしてください。シフトレバーやハンドルに絡まると危険です。**
**・車外に設置した場合、窓やドアの開閉時および乗り降りの際、コードを引っ掛けたりしないようにご注意ください。**
**・自動車などに、取り付け・取り外しする場合は、車体に傷をつけないようにご注意ください。**
**・洗車の場合は忘れずに車外に取付けた外付けGPSアンテナを取り外してください。**
**・外付けGPSアンテナを携帯するときの注意事項**
**外付けGPSアンテナの底面には強力な磁石が入っています。防磁板を取り外した外付けGPSアンテナにクレジットカードなどを近づけると、クレジットカードが使用不可能になってしまう場合があります。携帯するときは必ず防磁板をアンテナに取り付けてください。**
**・取り外した防磁板はなくさないように保管してください。**
**・購入時や長時間ご使用にならなかった場合は、視界のよい場所で15分程度、連続動作をさせてください。**

## CFGPS をパソコンに挿入する前に

次の条件のパソコンをご使用の場合は、サポートソフトディスクの内容を、ハードディスクにコピーする必要があります。

**『PC カードスロットが 1 つのみで、**
**CD-ROM ドライブを PC カード経由で使用する場合』**

この場合は、以下の手順にしたがってサポートソフトディスクの内容をハードディスクにコピーしてください。PC カードスロットが 2 つ以上ある場合や、内蔵もしくは USB 接続の CD-ROM ドライブがある場合は読み飛ばして次ページへお進みください。

① ハードディスクに任意のフォルダを作成します。
例）エクスプローラで C ドライブ（ハードディスクドライブが C ドライブの場合）を選択し、[ファイル]→[新規作成]から[フォルダ]をクリックし、適当な名前をつけます。
② PC カード経由の CD-ROM ドライブにサポートソフトディスクをセットします。
③ CD-ROM ドライブの内容をすべてコピーします
例）エクスプローラで D ドライブ（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）を選択し、[編集]→[すべて選択]をクリックします。その後、[編集]→[コピー]をクリックします。
④ ①で作成したフォルダを開き、③でコピーした内容を貼り付けます。
例）エクスプローラで C ドライブの①で作成したフォルダを選択し、[編集]→[貼り付け]をクリックします。

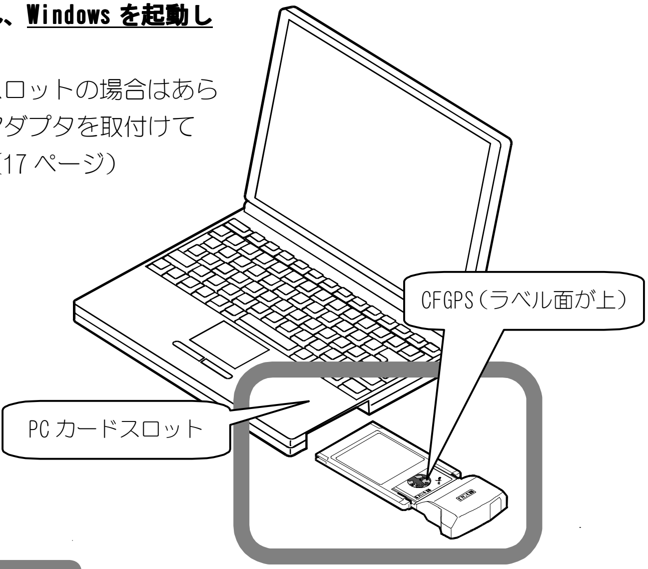
以上で、コピーは終了です。CD-ROM ドライブを取り外してください。

**以後の記述で CD-ROM を選択する個所では、①で作成したフォルダを指定してください。また、CD-ROM をセットするように記述している個所は読み飛ばしてください。**

## CFGPS をパソコンに挿入する

**パソコンの電源を入れ、Windows を起動した状態で行います。**

※ PC カード TypeⅡスロットの場合はあらかじめ PC カードアダプタを取付けておいてください。（17 ページ）




### 接続のヒント

カードのラベル面を上にして、パソコンの CF スロット、もしくは PC カードスロットに最後までしっかりと挿入します。挿入されると、ピポッと音がします。

- パソコンの CF スロット、もしくは PC カードスロットの位置は、パソコンの取扱説明書をご参照ください。

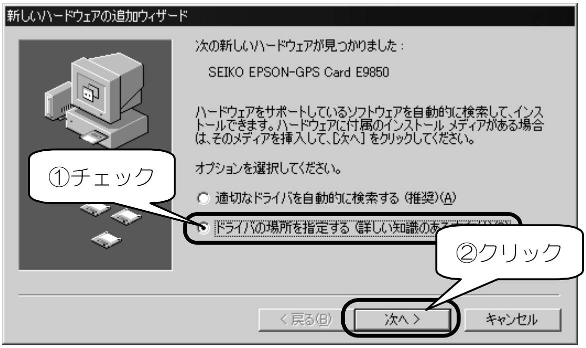
CFGPS をパソコンに挿入すると、CFGPS が新しいハードウェアとして認識され、インストールが始まります。ご使用の環境により、下記のページをご参照ください。

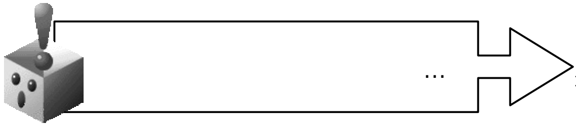
- Windows Me をご使用の場合
  「Windows Me へインストールする」次ページへお進みください。
- Windows 98 をご使用の場合
  「Windows 98 へインストールする」25 ページへお進みください。
- Windows 2000 をご使用の場合
  「Windows 2000 へインストールする」31 ページへお進みください。

「インストール終了後の確認」は、Windows Me/98 の場合は 29 ページへお進みください。Windows 2000 の場合は 35 ページへお進みください。

# Windows Me へインストールする

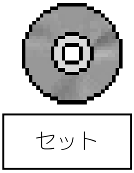
**1** CFGPS を挿入すると、しばらくして、下記の画面が表示されるので、[ドライバの場所を．．．]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



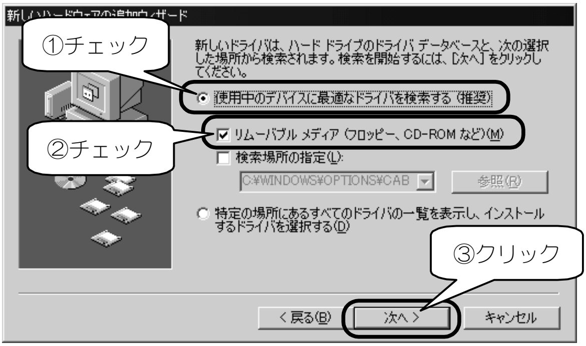



「困ったときには」89 ページをご参照ください。

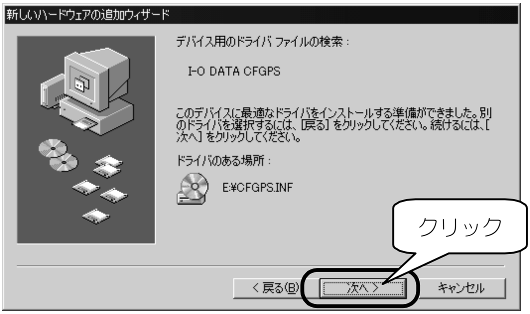
**2** サポートソフトディスクを、CD–ROM ドライブにセットします。



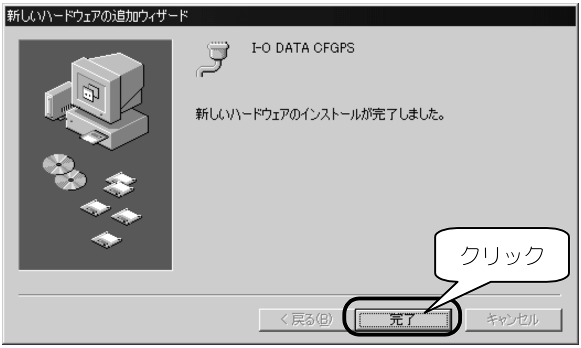
## 3 [使用中の．．．]、および[リムーバブルメディア．．．]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。




## 4 [次へ]ボタンをクリックします。



## 5 [完了]ボタンをクリックします。

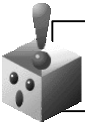



以上でインストールは終了です。CFGPS が認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

今後は CFGPS を差すだけで使えるようになります（CFGPS を差すとピポッと音がします)。
次は、29 ページ「インストール終了後の確認（Windows Me/98)」へお進みください。

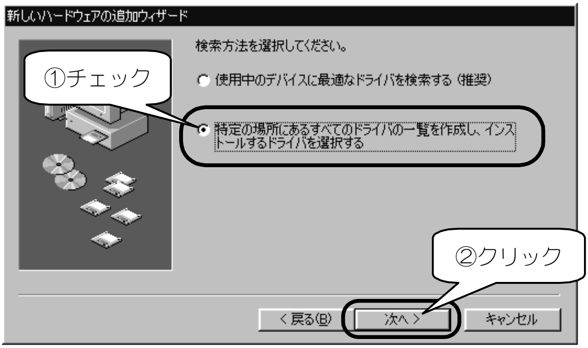
# Windows 98 へインストールする

**1** CFGPS を挿入すると、しばらくして、下記の画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。

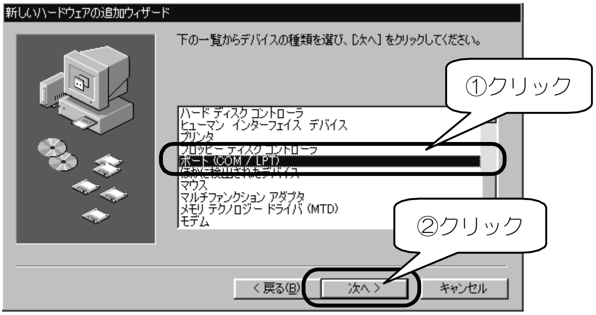


…「困ったときには」89 ページをご参照ください。

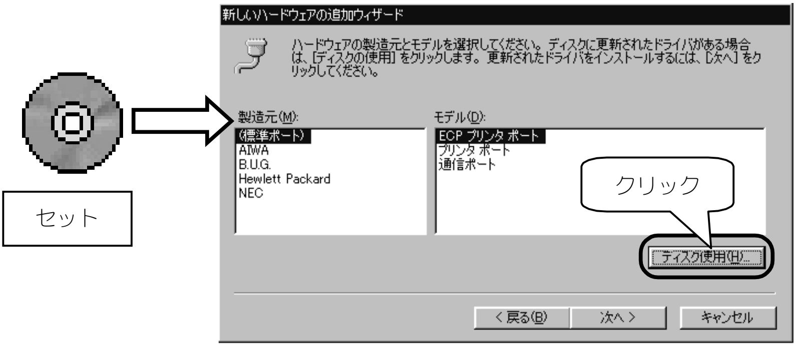
**2** [特定の場所にあるすべてのドライバ．．．]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



## 3 [ポート(COM/LPT)]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

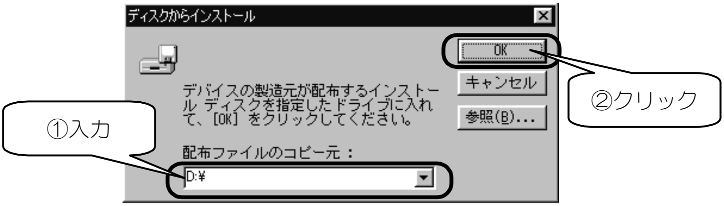



## 4 サポートソフトディスクを、CD-ROM ドライブにセットし、[ディスク使用]ボタンをクリックします。

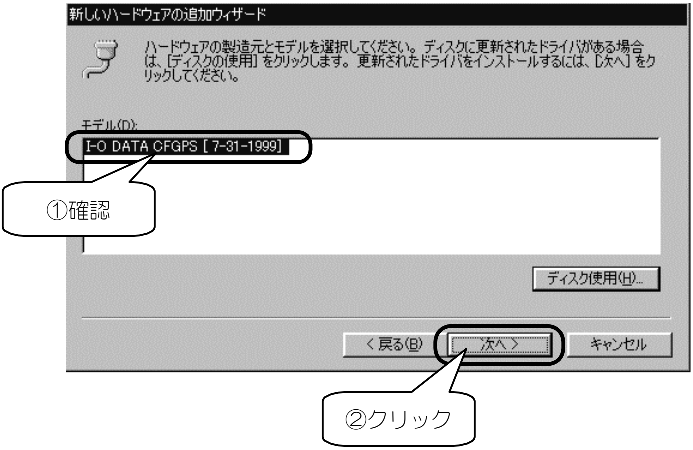



## 5 CD-ROM ドライブを指定し、[OK]ボタンをクリックします。

CD-ROM ドライブが D ドライブの場合は、[D:]と指定します（下図の例)。

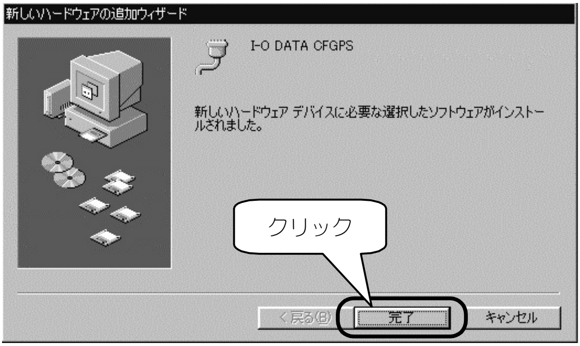


**6** [I-O DATA CFGPS]と表示されることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

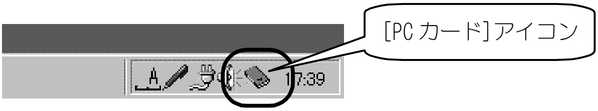



**7** [I-O DATA CFGPS]と表示されることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

## 8 ピポッと音がして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。




以上でインストールは終了です。CFGPS が認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。



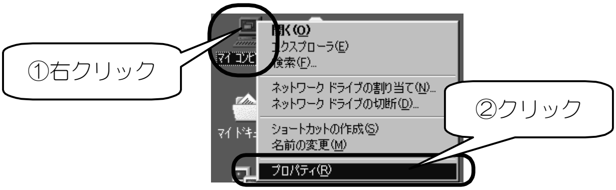

今後は CFGPS を差すだけで使えるようになります（CFGPS を差すとピポッと音がします）。

次は、次ページ「インストール終了後の確認（Windows Me/98）」へお進みください。

# インストール終了後の確認（Windows Me/98）

CFGPS をパソコンに挿入したら、パソコンが CFGPS を正しく認識したかどうか、および認識した COM ポート番号を確認します。この操作は Windows Me/98 共通です。

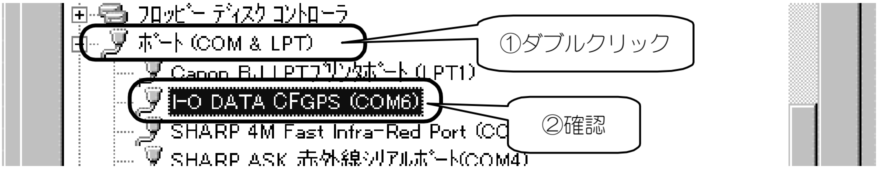
## 1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

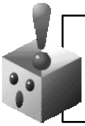



## 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

## 3 [ポート]をダブルクリックして、[I-O DATA CFGPS]が表示されていることを確認します。

COM の後の数字はお使いの環境により異なります。

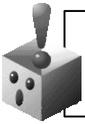


I-O DATA CFGPS

…

「困ったときには」89 ページをご参照ください。



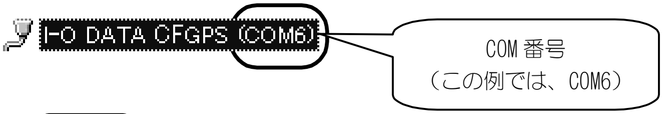
I-O DATA CFGPS

…

「困ったときには」90 ページをご参照ください。

## 4 COM の後の数字をメモしておきます。

下図の例では COM 番号は「6」です。この番号は後で GPS 機能を使って現在位置を測定するときに必要になります。




**注意！**

**ここで表示される COM 番号は、他のハードウェア（モデムやプリンタなどポートを使用するもの）をインストールすると変わってしまう場合があります。**
**他のハードウェアをインストールした場合は、もう一度この手順を行うか、画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックして、COM 番号を確認してください。COM 番号が変わったときは、ナビゲーションソフトの GPS 設定も変える必要があります（48 ページ参照）。**

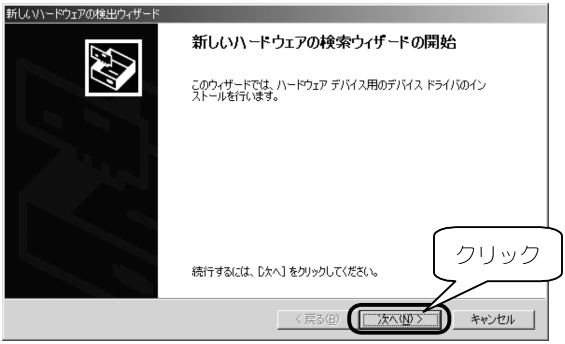
## 5 [OK]ボタンをクリックして、デバイスマネージャ画面を終了します。

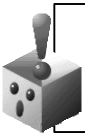
これで CFGPS が正常に認識されていることが確認できました。
実際に GPS 機能を使ってみる前に、38 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows Me/98）」をお読みになり、CFGPS の正しい取り外し方をマスターしてください。

# Windows 2000 へインストールする

※ Administrator 権限でインストールしてください。

**1** CFGPS を挿入すると、しばらくして下記の画面が表示されます。
サポートソフトディスクを、CD-ROM ドライブにセットし、[次へ]ボタンをクリックします。



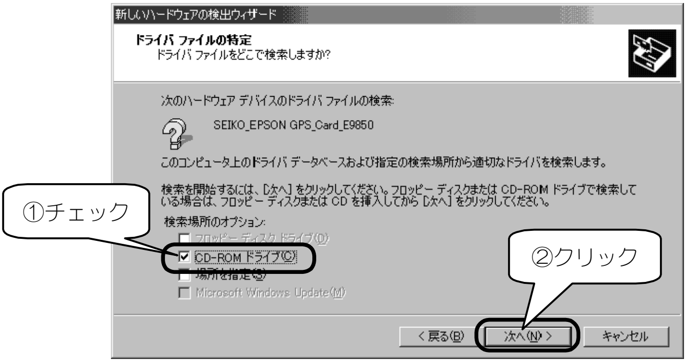



…

「困ったときには」89 ページをご参照ください。

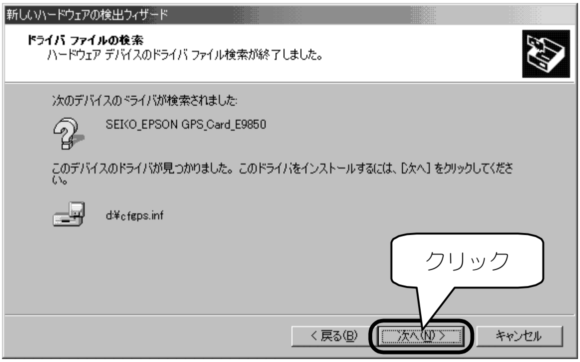
**2** [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

**3** [CD-ROM ドライブ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

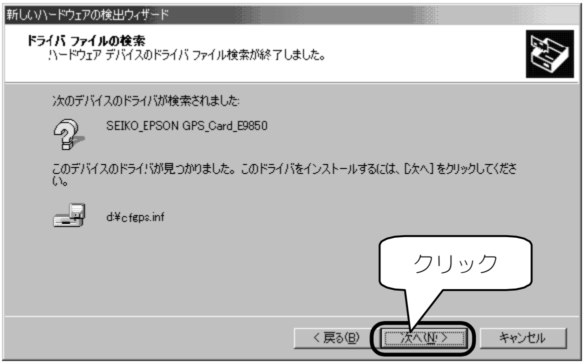


## 4 下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

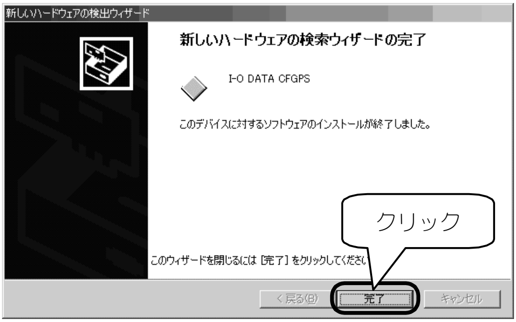
（下記は CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例です。）



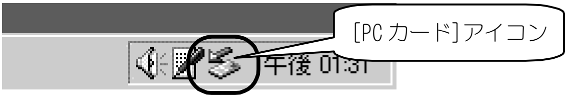

## 5 下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



## 6 [I-O DATA CFGPS]と表示されることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。




以上でインストールは終了です。CFGPS が認識され、画面右下のタスクトレイに[PC カード]アイコンが表示されます。

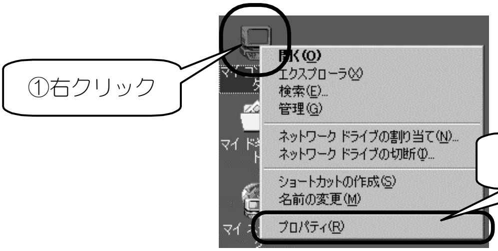



今後は CFGPS を差すだけで使えるようになります（CFGPS を差すとピポッと音がします）。
次は次ページ「インストール終了後の確認（Windows 2000)」へお進みください。

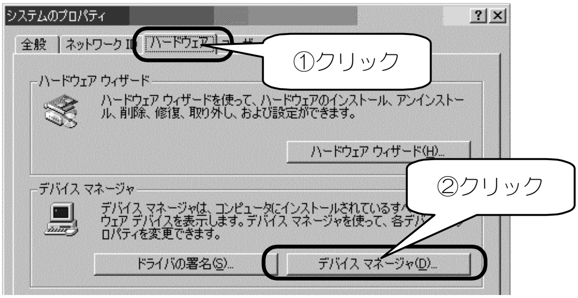
# インストール終了後の確認（Windows 2000）

CFGPS をパソコンに挿入したら、パソコンが CFGPS を正しく認識したかどうか、および、認識した COM ポート番号を確認します。この操作は Windows 2000 用です。

**1** [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

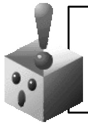



**2** [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。



## 3 [ポート]をダブルクリックして、「I-O DATA CFGPS」が表示されていることを確認します。

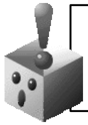
COMの後の数字はお使いの環境により異なります。



I-O DATA CFGPS

…

「困ったときには」89ページをご参照ください。



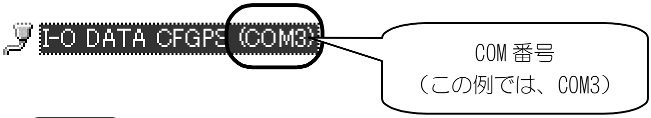
I-O DATA CFGPS

…

「困ったときには」90ページをご参照ください。

## 4 COMの後の数字をメモしておきます。

下図の例ではCOM番号は「3」です。この番号は後でGPS機能を使って現在位置を測定するときに必要になります。




**注意！**

**ここで表示されるCOM番号は、他のハードウェア（モデムやプリンタなどポートを使用するもの）をインストールすると変わってしまう場合があります。**
**他のハードウェアをインストールした場合は、もう一度この手順を行うか、画面右下のタスクトレイに表示されている[PCカード]アイコンをクリックして、COM番号を確認してください。COM番号が変わったときは、ナビゲーションソフトのGPS設定も変える必要があります（48ページ参照）。**

## 5 デバイスマネージャ画面を終了します。

これでCFGPSが正常に認識されていることが確認できました。
実際にGPS機能を使ってみる前に、40ページの「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000）」をお読みになり、CFGPSの正しい取り外し方をマスターしてください。

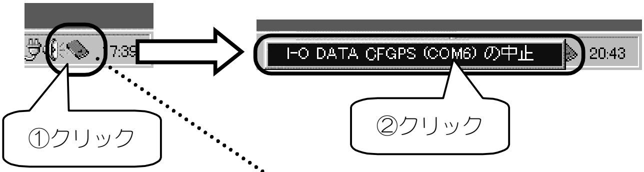
# パソコン起動中に取り外すには（Windows Me/98）

パソコンを起動中に、CFGPS を取り外すには決められた手順で行う必要があります。以下の手順は Windows Me/98 共通です。

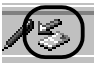
**注意！**

1. **正しい手順を行わずに CFGPS をスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する場合があります。**
2. **外付け GPS アンテナをご利用の場合は、CFGPS をパソコンから取り外さずに、ケーブルだけを取り外すことは絶対に止めてください。**
3. **CFGPS を取り外す前に、CFGPS を使用していないことを確認してください。**
4. **下記の取り外し操作を行うと、実際にスロットから CFGPS を抜かなくても CFGPS の動作は終了したとみなされ、CFGPS は使えなくなります。再度、使用したい場合はいったん CFGPS を抜いた後、もう一度、差し込んでください。**
5. **GeoSeek GPS やゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA など、複数のアプリケーションで CFGPS を同時に動作させた場合、以下の手順を行っても取り外しできなくなる場合があります。この場合は、パソコンの電源をいったん切ってから取り外してください。**

**1** 画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックし、[I-O DATA CFGPS(COM..)の中止]をクリックします。

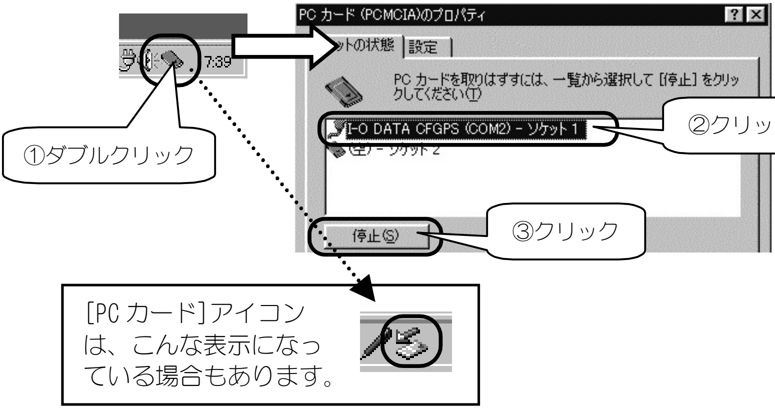



[PC カード]アイコンは、こんな表示になっている場合もあります。

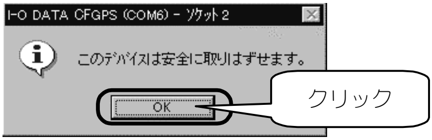


**参考**

[PC カード]アイコンをダブルクリックする方法もあります。下記右側の画面が表示されたら、[I-O DATA CFGPS]を選択後、[停止]（Windows 98 の場合）を押してください。




## 2 しばらくして下記の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。




## 3 PC カード取り出しボタンを押すと、CFGPS が少し飛び出すので、CFGPS をスロットから抜きます。

PC カード取り出しボタンの位置はパソコンの取扱説明書をご参照ください。
取り出しボタンを押すと、ピポッと音がします。

CFGPS の取り付け、取り外しをマスターしたら、いよいよ GPS 機能を使って、現在位置を測定してみましょう。
45 ページ「3 GPS 機能を使う」へ進んでください。

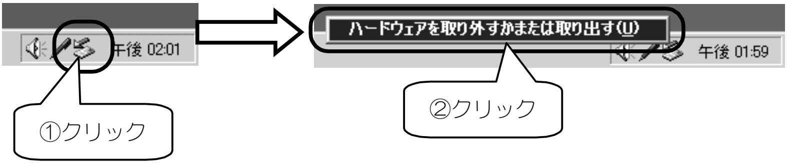
# パソコン起動中に取り外すには (Windows 2000)

パソコンを起動中に、CFGPS を取り外すには決められた手順で行う必要があります。この操作は Windows 2000 用です。

**注意！**

1. **正しい手順を行わずに CFGPS をスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する場合があります。**
2. **外付け GPS アンテナをご利用の場合は、CFGPS をパソコンから取り外さずに、ケーブルだけを取り外すことは絶対に止めてください。**
3. **CFGPS を取り外す前に、CFGPS を使用していないことを確認してください。**
4. **下記の取り外し操作を行うと、実際にスロットから CFGPS を抜かなくても CFGPS の動作は終了したとみなされ、CFGPS は使えなくなります。再度、使用したい場合はいったん CFGPS を抜いた後、もう一度、差し込んでください。**
5. **GeoSeek GPS やゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA など、複数のアプリケーションで CFGPS を同時に動作させた場合、以下の手順を行っても取り外しできなくなる場合があります。この場合は、パソコンの電源をいったん切ってから取り外してください。**

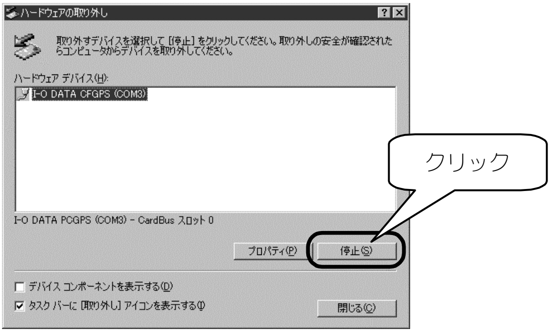
**1** 画面右下のタスクトレイに表示されている[PC カード]アイコンをクリックし、[ハードウエアを取り外すかまたは取り出す]をクリックします。



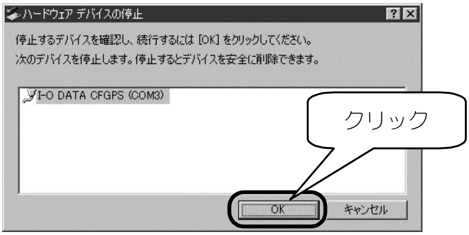
## 参考

[PC カード]アイコンをダブルクリックする方法もあります。この場合はダブルクリック後すぐに手順 2 の画面になります。

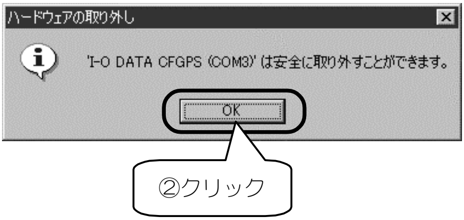
## 2 下記の画面が表示されたら、[停止]ボタンをクリックします。




## 3 [OK]ボタンをクリックします。



## 4 [OK]ボタンをクリックします。




## 5 PC カード取り出しボタンを押すと、CFGPS が少し飛び出すので、CFGPS をスロットから抜きます。

PC カード取り出しボタンの位置はパソコンの取扱説明書をご参照ください。
取り出しボタンを押すと、ピポッと音がします。

CFGPS の取り付け、取り外しをマスターしたら、いよいよ GPS 機能を使って、現在位置を測定してみましょう。
45 ページ「3 GPS 機能を使う」へ進んでください。

# Windows CE で使う

本製品を Windows CE でご使用になる場合は、まず弊社ホームページ

**http://www.iodata.co.jp/GPS**

で、お手元の Windows CE 機が対応機種であるかどうかをご確認ください。
対応機種の場合、下記のものをインストールすればご使用いただけます。

・Windows CE 対応地図ソフト
・Windows CE ユーティリティ

## Windows CE 対応地図ソフトをインストールする前に

・Windows CE 対応地図ソフトをインストールする前に、ご使用のパソコンに付属の「Microsoft Windows CE サービス」をインストールし、ご使用のパソコンと、Windows CE 機の間でデータ転送が正しく行える状態にあるか、確認してください。

・弊社ホームページで、お持ちの地図ソフトが対応地図ソフト（Windows CE 用）であるかどうかをご確認ください。また、本製品でご使用になる上での注意事項も確認し、地図ソフトに付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取扱ください。

## Windows CE ユーティリティのインストール

Windows CE ユーティリティは、ご使用のパソコンの OS、および CPU によりインストールするファイルが異なります。サポートソフトディスク内の WinCE フォルダにある Readme.html、またはホームページにてファイルを確認してください。
※正しいファイルでない場合は、ユーティリティは動作しません。

### 1 選択した.cab ファイルをご使用のパソコンに転送します。

.cab ファイルは、サポートソフトディスク内の WinCE フォルダ内にあります。
詳細については、Readme.html をご覧ください。

## 2 転送した.cab ファイルをダブルクリックします。

## 3 インストーラーが起動しますので、インストール先のフォルダを指定して[OK]ボタンをクリックします。

以上でインストールは完了です。

**参考**

**パソコンの取扱説明書の、CF カードの取り外し方、もしくは PC カードの取り外し方をよくご覧いただき、指示に従って取り外してください。**

## Windows CE ユーティリティのアンインストール

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの削除]から[I-O DATA GPS Utility]をクリックし、[削除]ボタンをクリックします。
以上で Windows CE ユーティリティがアンインストールされます。

# 3 GPS機能を使う

この章では、本製品と本製品添付の「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」を使って、パソコンの地図上に現在位置を表示させたり、GeoSeek GPS を使って GPS 信号を受信する方法について説明します。


**ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA を使う　46 ページ**

本製品添付の「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」を起動し、GPS 機能を使って、現在位置を地図上で確認する方法を説明します。

**GeoSeek GPS を使う　57 ページ**

GeoSeek GPSを使って、GPS衛星の電波を受信し、現在位置を確認（数字表記のみ）する方法を説明します。

**GeoSeek GPS リファレンス　67 ページ**

GeoSeek GPSの詳細を説明します。


**参考**

**【ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA を使う】(46 ページ)で動作に異常がある場合は、【GeoSeek GPS を使う】(57 ページ)での動作確認をおすすめします。**

# ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA を使う

ここでは本製品添付の「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」を使って、現在位置を地図上に表示する方法やルート検索方法を説明します。

**※CFGPS が正しく取付けられており、ドライバがインストールされていることが前提です。**

**注意！**

- **運転しながら現在位置を確認したり、「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA を操作したりすることは絶対にお止めください。事故の原因になり、大変危険です。**
  **添付の地図ソフトは同乗者によるナビゲーションとしてお使いください。**
- **添付の地図ソフトの GPS 機能を使用中には、本製品の取り外しは行わないでください。故障の原因となります。**
- **添付の地図ソフトの詳細については、[スタート]→[プログラム]→[ゼンリン電子地図帳]→[ゼンリン電子地図帳ZⅣ]→[ゼンリン電子地図帳ZⅣヘルプ]をご覧ください。（54ページ参照）**
- **添付の地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」とその他の地図ソフト、GeoSeek GPS を同時に起動させておくことはできますが、他の地図ソフトでは GPS 機能が使えなくなります。（GPS 機能は停止させる必要があります。）ただし、添付地図ソフトと GeoSeek GPS のみの同時起動の場合は、双方で GPS 機能を使うことができます。**
- **本製品は、パソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。**
  **本製品を使用する場合は、これらの機能を無効に設定してください。**
- **インストールだけでは詳細地図データはインストールされませんので、ご使用時には、「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」CD-ROM をセットしておくか、[スタート]メニューから[電子地図帳Ⅳデータインストールユーティリティ]で詳細地図データもインストールしてください。**
- **地図の道路上に正確に位置表示されないことがあります。（マップマッチングしていないため）**

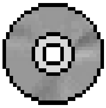
## ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA のインストール

ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、インストーラが自動的に起動します。画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

## 現在位置を地図上で表示する

CFGPS を CF スロット、もしくは PC カードスロットにセットし、外付け GPS アンテナを使用する場合は、18 ページ「外付け GPS アンテナを取り付ける」を参照して、正しい位置に外付け GPS アンテナを設置してください。

**1** **「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」の CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。**

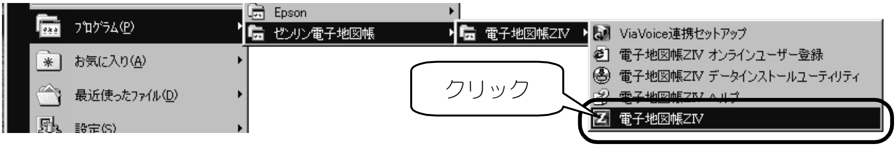


データインストールユーティリティで地図データをインストールすれば、CD-ROM は必要ありません。

**2** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA を起動します。**

[スタート]→[プログラム]→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳ＺⅣ]→[電子地図帳ＺⅣ] をクリックします。

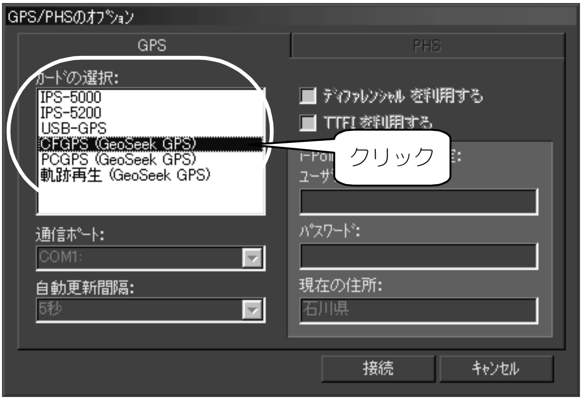
**※詳細地図データをインストール済み(46 ページ[注意]参照)の場合は CD-ROM をセットする必要はありません。**




**3** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA の画面が表示されたら、[GPS/PHS]ボタンをクリックします。**

## 4 [GPS を利用する]アイコンをクリックします。

## 5 [カードの選択]で本製品名をクリックし、[接続]ボタンをクリックします。

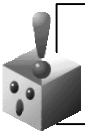



### 参考

自動更新間隔とは、現在位置を再測定して表示するまでの間隔です。移動速度などに応じて、必要な間隔を選んでください。

## 6 しばらくして測位できたら、自動的に現在位置の地図になり、現在位置のマークが表示されます。

最初の測位では、ウォームアップ動作をしますので、正確な測位には数分かかる場合もあります。しばらくお待ちください。



…

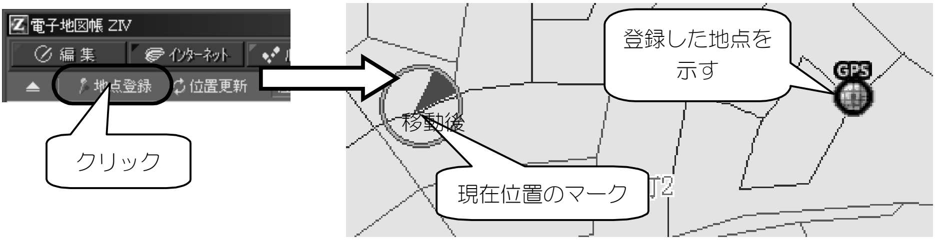
「困ったときには」93 ページをご参照ください。

**注意！**

- **現在位置を表示しているときは、その他の地域の地図は表示できません。[GPS/PHS]ボタンをクリックし、GPS受信を終了してから、地図を表示してください。**
- **GPS衛星自体の測定誤差があるので、現在位置マークは、実際の位置とずれる場合があります。**

## 7 [地点登録]をクリックすると、現在地が登録できます。

[位置更新]をクリックすると現在位置を再測位します。(特に[位置更新]をクリックしなくても更新間隔に合わせて自動測位します)。




## 8 GPS受信を終了したいときは、もう一度、[GPS/PHS]ボタンをクリックします。

ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA自体を終了したいときは、画面右上の[×]をクリックしてください。

移動すると移動速度も表示されます。添付のゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATAではレストランなどを検索したり、電話番号で所在地を検索する機能もあります。使い方は添付のオンラインマニュアルをご参照ください。

# ルート検索するには

ここでは、目的地へのルート（道順）を表示する機能（ルート探索）について説明します。地図ウィンドウ上で、スタート点とゴール点を指定するだけで、自動的にルートを検索し、目的地までのルート（道順）を描画します。

**注意！**

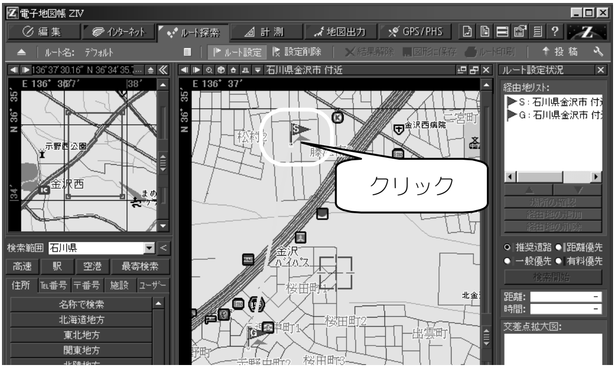
**リアルタイムでの自動検索（リルート検索）には、対応しておりません。**

## 1 ［ルート探索］ボタンをクリックします。

ルート検索モードとなり、アイコンが［　］となります。

## 2 スタート地点をクリックします。

**クリックした地点にスタート地点の旗　（Sの旗）が立ちます。**



**3**

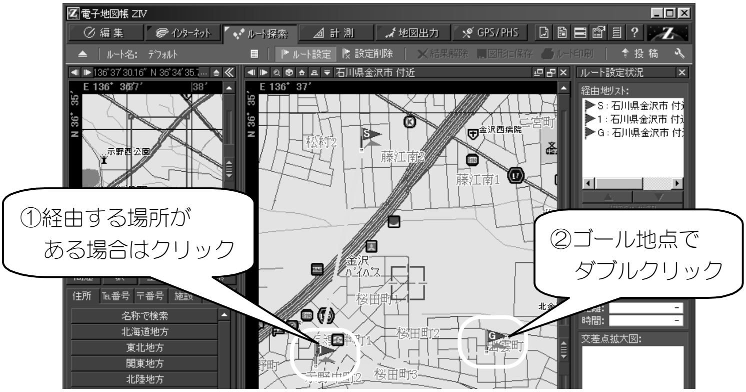
・ゴール地点を設定する場合

ダブルクリックすれば、ダブルクリックした地点がゴール地点（Gの旗）となります。

・ゴール地点までに経由する場所がある場合

その場所でもクリックしてください。

スタート地点を1番として、昇順の番号がついた旗が立ちます。



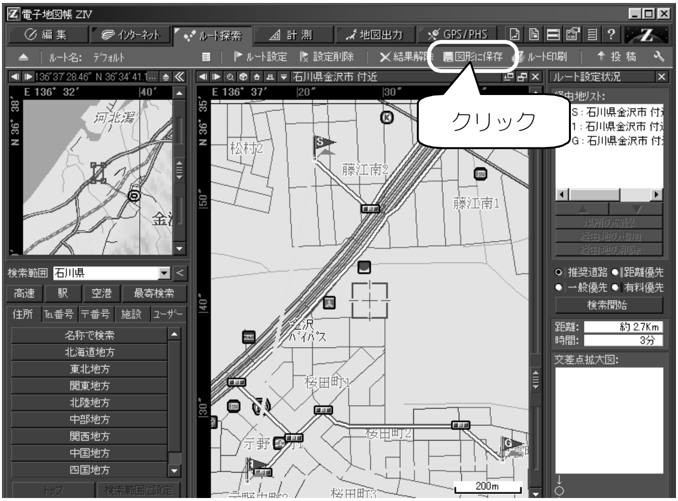

**4**

[検索開始]ボタンをクリックするとマップ上にルートが表示されます。

検索されたルートは、マップ上に白抜きの緑線で表示されます。

## 5

ルート探索結果表示後、
[図形に保存]ボタンでルートが保存されます。




## 6

この後、[GPS/PHS]モードに移り、GPS で位置を確認しながら、検索したルートを進んでください。

### 注意！

- **GPS を使用した状態でのリアルタイムルート検索はできません。
リアルタイムでの自動検索（リルート検索）にも対応しておりません。**
- **ルート探索の結果は、一度に1ルート表示できますが、別のルートを検索する場合は、削除しなければなりません。**

### 参考

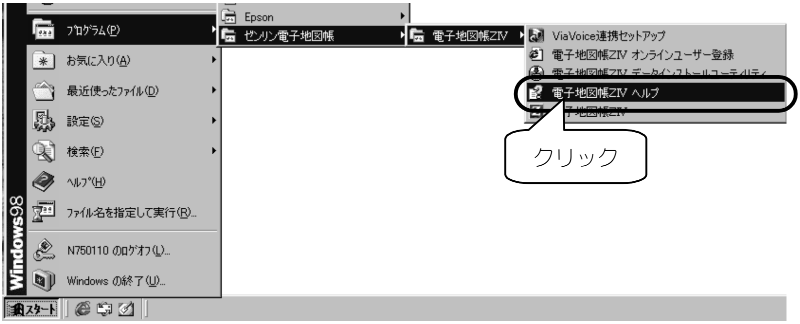
**表示されているルートの加工・削除は[編集モード]で行ってください。**

以上でルートの探索は終了です。

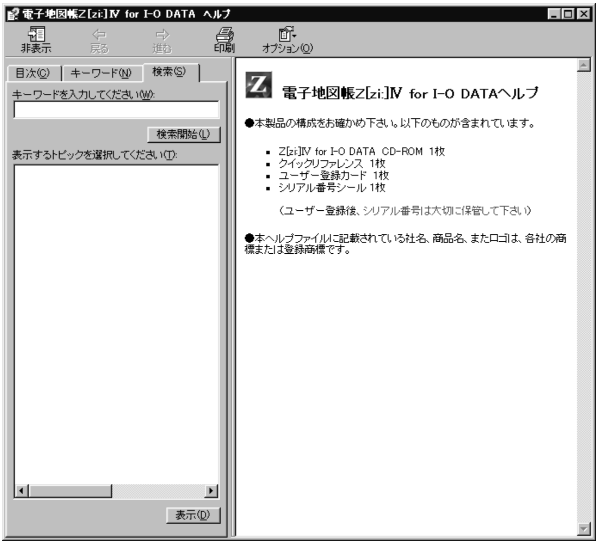
# その他の使用方法

「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」の詳細は、以下の手順でオンラインヘルプ「電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA 操作マニュアル」をご覧ください。

## 1 [スタート]→[プログラム]→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳ZⅣ]→[電子地図帳ZⅣヘルプ]を順にクリックします。




## 2 電子地図帳ZⅣヘルプが表示されます。



## 地図ソフトを削除する

ここでは、インストールした地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」を使用しなくなった（不用になった）場合の削除（アンインストール）手順について説明します。

**1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[アプリケーションの追加と削除]を起動します。

**2** [電子地図帳ZⅣ]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

後は、画面の指示に従って削除（アンインストール）してください。

## 添付地図ソフトに関するお問い合わせ

添付の地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」に関する使用方法、その他に関しては、弊社ではお受けできません。
ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

**株式会社ゼンリン**
**ユーザーサポートセンター**
**郵便　〒101-0065**
**東京都千代田区西神田 1-1-1**
**オフィス 21 ビル 6F**
**TEL　03-5259-5064**
**FAX　03-5259-5073**
**e-mail　support@zenrin.co.jp**

受付時間　毎週月曜日～金曜日
10:00～12:00/13:00～17:00
※祝日・夏期休暇・年末年始などゼンリン社休日はお休みとさせていただきます。

### 注意！

**お問い合わせの際は、以下をメモした上で、お問い合わせください。**

- **お客さまのお名前/ご住所/お電話番号**
- **製品名　（ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA）**
- **製品のシリアル No.**
  **（添付の［ゼンリン ユーザー登録カード］に記載されている 16 桁の英数字）**
- **ご使用パソコンの本体メーカー/機種**
- **ご使用 Windows OS の種類/バージョン**
- **ご使用プリンタのメーカー/機種　（印刷に関するご質問の場合）**
- **お問い合わせの内容**

# GeoSeek GPS を使う

サポートソフトディスクには GPS 信号を受信し、現在位置や GPS 衛星の状態を確認できるユーティリティ「GeoSeek GPS」が入っています。ここでは GeoSeek GPS を使って、リアルタイムに現在位置を確認してみましょう。（現在位置は緯度・経度での表記です。地図上に表示することはできません）。

## GeoSeek GPS のインストール

**1** サポートソフトディスクを CD-ROM ドライブにセットし、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で[SETUP.EXE]を指定し、[OK]ボタンをクリックします。

（CD-ROM ドライブが E ドライブの場合）

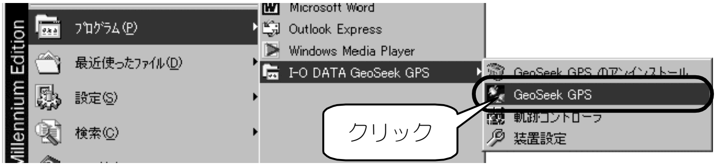
**2** 画面の指示に従い、インストールを進めてください。

## GeoSeek GPS を使おう

GeoSeek GPS を使って、現在位置や衛星の状況を測定してみましょう。
CFGPS をパソコンにセットします。（GPS 信号を受信しづらい場合は、外付け GPS アンテナを電波の受信しやすいところ（車の屋根や屋上など）に設置します。）

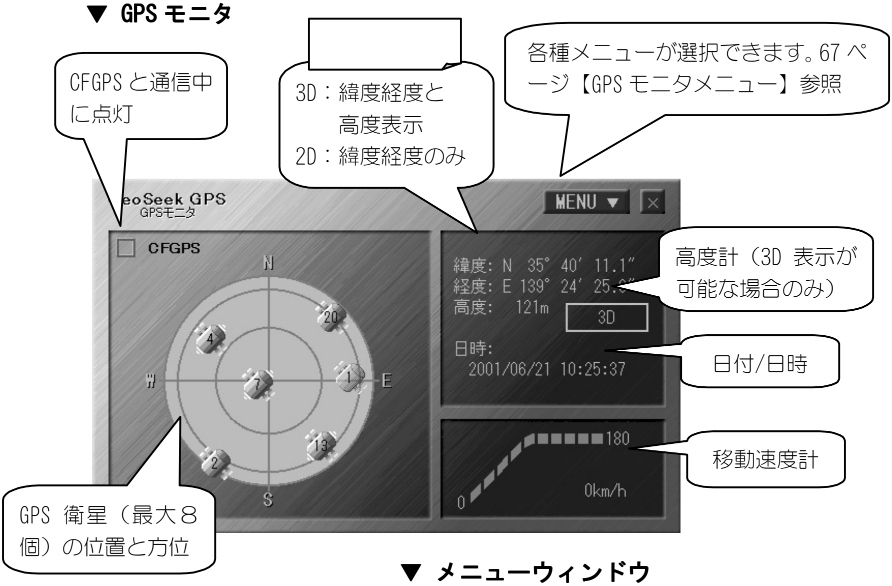
## 1 GeoSeek GPS を起動します。

[スタート]→[プログラム]→[I-O DATA GeoSeek GPS]→[GeoSeek GPS]をクリックします。




## 2 GPS モニタとメニューウィンドウが表示され、GPS アンテナが正しく電波を受信できれば、現在位置や衛星の状況が表示されます。

▼ **GPS モニタ**




▼ **メニューウィンドウ**

**注意！**

**・測位の途中で、測定不可能な状態になった場合、画面には最後の測位情報が表示されたままになります。**
**・数分待っても上の画面が表示されない場合は、93 ページ「現在位置が表示されないときは」をご参照ください。**
**・高度計の値は参考値です。**

## CFGPS の制御設定

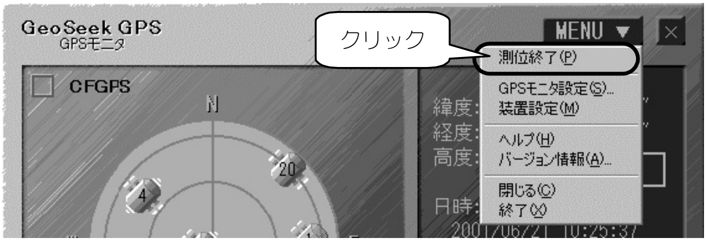
ここでは、下記動作について説明します。

・CFGPS の動作を停止させる場合
・CFGPS の動作を再開する場合
・GeoSeek GPS 起動と同時に CFGPS を動作可能とする設定

GeoSeek GPS に対応していない地図ソフトをご利用になる場合は、GPS の動作を停止して、地図ソフト側で GPS 機能を有効にしてください。

### ●CFGPS の動作を停止させる

[MENU]→[測位終了]をクリック。




「GPS は停止中です、測位開始を選択してください。」と表示されます。

●CFGPS を動作させる

[MENU]→[測位開始]をクリック。

●起動と同時に自動的に CFGPS を動作させる

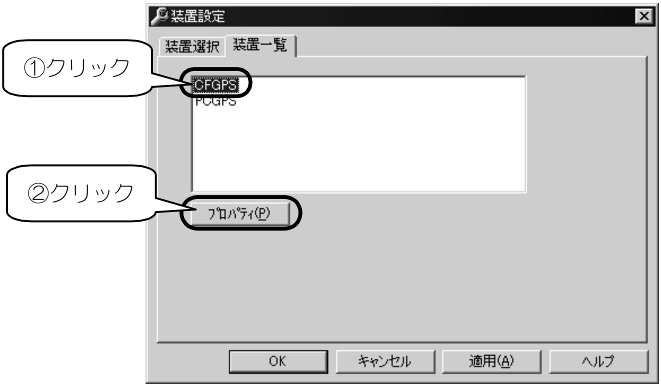
[MENU]→[GPS モニタ設定]→[GPS モニタ表示時、自動的に測位開始する]をチェック。

## 動作に異常がある場合は初期化

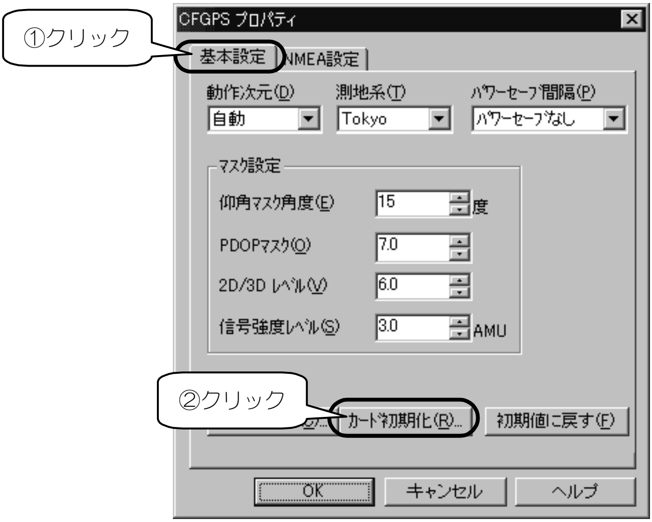
はじめて本製品をご使用になる場合や、ご使用中に異常があるような場合は、初期化を行ってください。

1 [MENU]→[装置設定]をクリックします。

## 2 [装置一覧]で[CFGPS]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。




## 3 [基本設定]タブをクリックし、[カード初期化]ボタンをクリックします。



## 4 [OK]ボタンをクリックします。

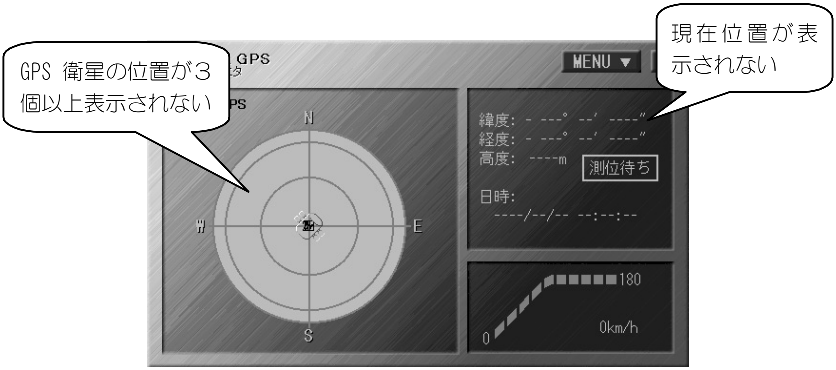
「しばらくお待ち下さい。」と表示され、初期化が完了します。

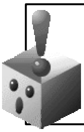
**注意！**

**この作業中では現在位置、現在時刻、軌道情報を一旦クリアし、はじめから測位をやり直すため、正確な現在位置表示まで数分間時間がかかる場合があります。**

## 現在位置が表示されないときは

GeoSeek GPS を起動してしばらくしても、３個以上の GPS 衛星からの電波が受信できないときは現在位置を表示できません。



…

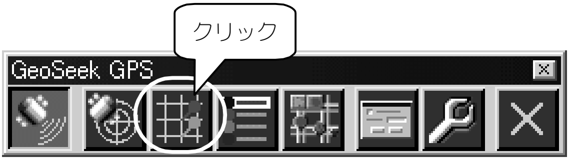
「困ったときには」93 ページをご参照ください。

状況によっては３Ｄ測位（緯度・経度・高度を測定）ができない場合があります。このときは自動的に２Ｄ測位（高度なし）になります。

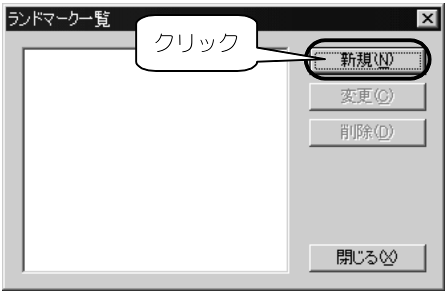
## 特定の場所への距離や方向を知るには

GeoSeek GPS にはランドマーク機能といって、指定した場所と現在位置とのおおよその距離や、その場所への方向を示す機能があります。
ここではランドマーク機能の使い方を説明します。この設定は起動するたびに行ってください。

## 1 メニューウィンドウの[位置プロットを開く]ボタンをクリックします。

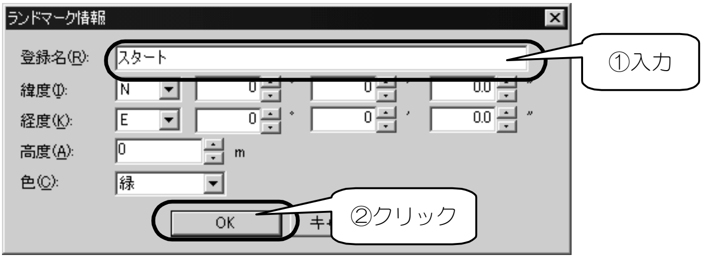



## 2 [MENU]→[ランドマーク一覧]→[新規]ボタンをクリックします。

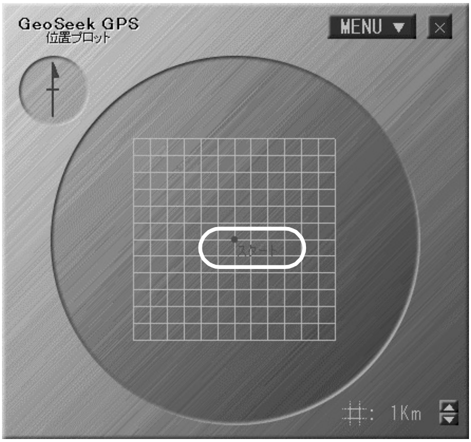



## 3 [登録名]に現在地の名称(任意)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

[緯度]、[経度]、[高度]は現在のものが表示されています。
[色]では、[GeoSeek GPS]のグリッド上に表示される印の色が指定できます。

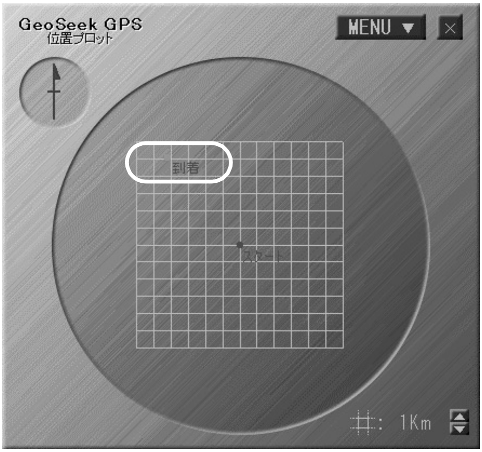


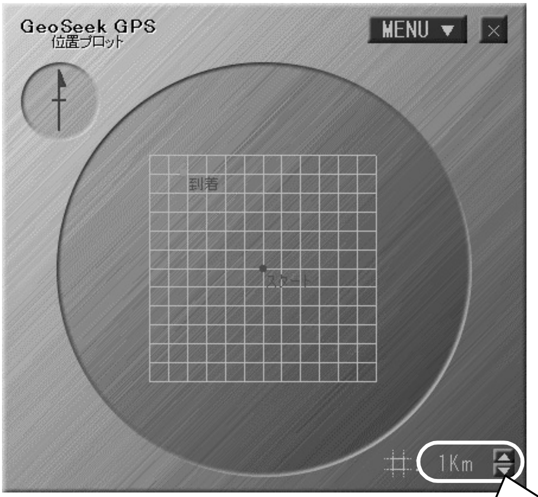
**4** [GeoSeek GPS]のグリッド上に現在地の印が表示されますので、そのまま目的地まで移動します。




**5** 目的地に到着したところで、再度手順 **2** ～ **3** を行います。

図は手順 **3** で[登録名]に「到着」と入力した場合の例です。






グリッドの１マスあたりの距離が設定できます。この図の場合は、１マスは 1km 四方であらわされます。

GeoSeek GPS の詳しい使い方は[ヘルプ]メニューをご参照ください。
GeoSeek GPS は CFGPS の信号受信確認としても使用できます。GPS 対応ナビゲーションソフトなどでうまく動作しないときは GeoSeek GPS で測位してみてください。

## GPS モニタメニュー

| メニュー | 内容 |
|---|---|
| 測位開始/測位終了 | 測位を開始します。測位中は、「測位終了」という表示に変わり、選択すると測位を終了します。 |
| GPS モニタ設定 | GPS モニタの設定を行います。（【GPS モニタ設定】次ページ参照） |
| 装置設定 | GPS 装置に関する設定を行います。（【装置設定】69 ページ参照） |
| ヘルプ | ヘルプを表示します。 |
| バージョン情報 | バージョン情報を表示します。（【バージョン情報】77 ページ参照） |
| 閉じる | GPS モニタを閉じます。GeoSeek GPS は、そのまま常駐し、タスクバーの GeoSeek GPS アイコンも表示されたままになります。 |
| 終了 | GeoSeek GPS を終了します。 |

## GPS モニタ設定

GPS モニタの設定を行います。

| メニュー | 内容 |
|---|---|
| 常に手前に表示する | チェックすると、GPS モニタが常に手前に表示されます。 |
| GPS モニタ表示時、自動的に測位開始する | チェックすると、GPS モニタを表示したとき、自動的に測位を開始します。 |
| 速度の最大値 | GPS モニタで表示する速度の最大値を設定します。<br>ここで設定した最大値よりも速い速度で移動した場合、GPS モニタでは、速度バーが最大値で止まります。速度の数値は、実際の速度が表示されます。初期設定は、180ｋm/h です。設定できる範囲は、0～1000km/h です。 |
| 速度が xxxkm/h 以下であれば回転しない | GPS モニタでは、測位中に移動するとそれに従って、現在の方位表示がリアルタイムに回転します。ただし、止まっている場合や低速で移動する場合などは、方位表示の誤差が目立ってしまいます。したがって、低速で移動する場合は方位表示を回転しないように設定しておくことをおすすめします。初期設定は、5km/h です。設定できる範囲は、0～100km/h です。 |

# 装置設定

装置設定ウィンドウにでは、GeoSeek GPS の動作に関する設定ができます。

## ● 装置選択タブ

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①情報提供装置の選択 | 情報提供装置の選択ウィンドウが表示されます。ここでは、GPS モニタ等で表示する情報の情報源となる装置を選択します。<br>(【情報提供装置の選択】71 ページ参照) |
| ②起動時に利用する情報 | 起動時に利用する情報ウィンドウが表示されます。<br>(【起動時に利用する情報】72 ページ参照) |
| ③情報提供装置(位置) | GPS モニタ等で表示する位置情報の情報源が表示されます。 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| ④情報提供装置（時刻） | GPS モニタ等で表示する時刻情報源が表示されます。 |
| ⑤情報提供装置（DGPS 情報） | DGPS をご利用になる場合、情報源が表示されます。<br>※DGPS に対応するプログラムは入っておりません。 |
| ⑥測地系 | GPS モニタ等で表示する位置情報の測地系を選択します。（75 ページ②参照） |
| ⑦PC の時計を合わせる | チェックすると、時刻情報が取得できた際に、パソコンの時計を合わせます。 |
| ⑧起動時に利用する情報装置（位置） | 起動時に利用する情報ウィンドウで選択された、装置起動時に初期化のために利用する位置情報源が表示されます。 |
| ⑨起動時に利用する情報装置（時刻） | 起動時に利用する情報ウィンドウで選択された、装置起動時に初期化のために利用する時刻情報源が表示されます。 |
| ⑩起動時に利用する情報装置（GPS 軌道情報） | 起動時に利用する情報ウィンドウで選択された、装置起動時に初期化のために利用する GPS 起動情報が表示されます。 |

▼ **情報提供装置の選択**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①位置情報選択 | GPS モニタ等で表示する位置情報の情報源を選択します。CFGPS を選択してください。なお、ここで選択したアドオンから提供されるGPS 情報、装置アクセス情報が、GPS モニタ等に表示される情報となります。 |
| ②時刻情報選択 | GPS モニタ等で表示する時刻情報の情報源を選択します。CFGPS を選択してください。 |
| ③DGPS 情報選択 | DGPS をご利用になる場合、情報源が表示されます。※DGPS に対応するプログラムは入っておりません。 |

※DGPS（ディファレンシャル GPS）とは、GPS 装置の位置精度を上げる方法のことです。これにより、GPS 装置の精度が上がります。

▼ **起動時に利用する情報**

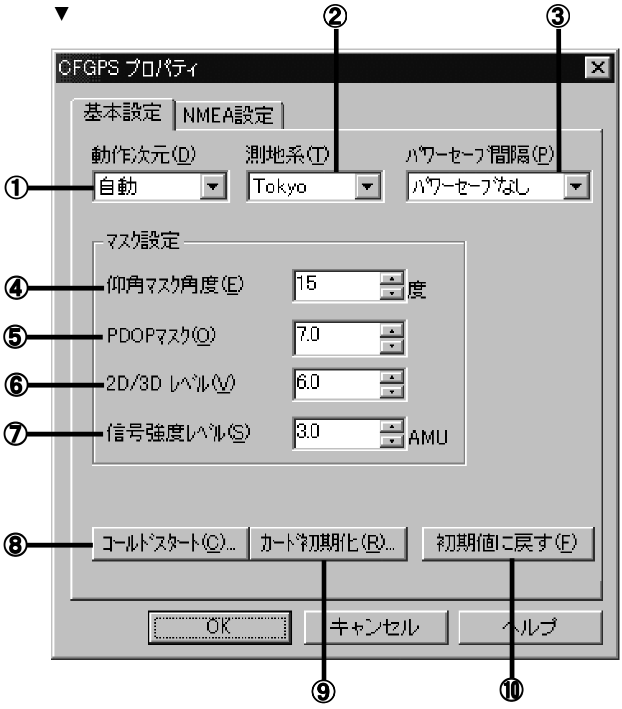
| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①位置情報装置リスト | 起動時に利用される位置情報源の装置リストを表示します。 |
| ②時刻情報装置リスト | 起動時に利用される時刻情報源の装置リストを表示します。 |
| ③GPS 軌道情報装置リスト | 起動時に利用される GPS 軌道情報源の装置リストを表示します。 |
| ④情報の種類 | 初期化情報の種類を選択します。通常は[位置]か[時刻]を選択してください。 |
| ⑤期限 | 情報を利用する期限を指定します。これよりも古い情報は利用されません。 |

## ● 装置一覧タブ

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①装置一覧 | 装置一覧には、設定可能な装置のリストが表示されます。ここで CFGPS を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックすると、CFGPS の設定ウィンドウを開くことができます。 |
| ②プロパティ | [装置一覧]で選択された装置のプロパティを開きます。表示内容は選択された装置により異なります。 |

## ▼ プロパティ

▼




※プロパティの内容は[装置一覧]で選択されている装置により異なります。ここでは、CFGPS の場合の表示例を掲載しています。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ① | 自動/2D/3D から選択できます。<br>2D 指定は緯度・経度のみを計算します。3D 指定は高度を含めて測位を行います。通常は[自動]で使用します。 |
| ② | 測地系の設定を行います。<br>Tokyo 測地系　　　　：日本で標準的に使用されている測地系です。<br>WGS-84 測地系　　　：世界測地系です。<br>これらは地球を楕円体とみなして GPS や測量に用いている座標系です。GPS カードを地図ソフトと組み合わせて利用する場合に、地図ソフトの設定と合わせる必要があります。多くの日本の地図ソフトは Tokyo(東京)測地系で使用するようになっています。<br>WGS-84 は世界的な標準として使われています。 |
| ③ | パワーセーブ間隔を設定します。ドロップダウンリストよりパワーセーブ間隔を選択し、設定を行います。間隔を長くすることにより、本製品の電力消費を抑えることができます。 |
| ④ | 仰角マスク角度を設定します。仰角が指定した角度以下の衛星は測位計算に使用しません。障害物がある所では、この値を変更することにより測位誤差の原因の一つである反射波を取り除くことが出来ます。 |
| ⑤ | 値を入力し、PDOP マスクを設定します。PDOP は測位計算に使用する GPS 衛星の配置によって決まる位置の誤差の大きさを示す尺度です。この値が大きいほど位置の誤差は大きくなります。PDOP が指定した値以上の時は、測位計算を行いません。 |
| ⑥ | 値を入力し、2D/3D スイッチレベルを設定します。GPS 衛星を 4 つ以上補足している場合、緯度・経度・高度を計算することができますが、PDOP が指定した値以上になるときは、緯度・経度のみを計算します。これにより高度は計算されなくなりますが、緯度・経度の精度は上がります。なお、動作次元の設定が自動でない場合、この値は無効です。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ⑦ | 値を入力し、信号強度レベルを設定します。各 GPS 衛星からの信号強度が、指定した値以下の場合はその衛星からの信号を無視します。 |
| ⑧ | 現在位置・現在時刻・軌道情報をクリアし、測位計算を初めからやり直します。通常、使用する必要はありませんが、前回の測位地点から大きく離れた地点にいて、衛星配置がかけ離れてしまう場合に使用すると有効な場合があります。 |
| ⑨ | ハードウェアを出荷時の設定に戻します。 |
| ⑩ | 変更された値を初期値に戻します。 |

▼ NMEA タブ

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ① | GPS 測位データのパケットを出力します。 |
| ② | 位置（緯度、経度）のパケットを出力します。 |
| ③ | GPS の DOP と測位に使用した衛星のパケットを出力します。 |
| ④ | 受信可能な衛星のパケットを出力します。 |
| ⑤ | 時刻、位置、速度、方位のパケットを出力します。 |
| ⑥ | 速度、方位のパケットを出力します。 |
| ⑦ | 時刻、日付のパケットを出力します。 |
| ⑧ | EPSON ASCII Format 出力対応アプリケーションをご使用の際は、チェックしてください。対応アプリケーション以外ではチェックする必要はありません。 |
| ⑨ | エディットボックスへ値を入力する事により、NMEA パケット出力間隔の設定を行います。単位は秒です。 |
| ⑩ | 変更された値を初期値に戻します。 |

## バージョン情報

GeoSeek GPS のバージョンを表示します。ドライバのバージョンを示すものではありません。[OK]ボタンをクリックすると閉じます。

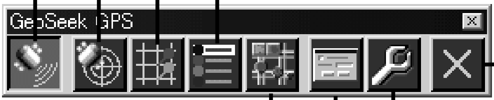
# メニューウィンドウ

**[測位開始]ボタン**
測位を開始します。測位中はボタンがクリックされたままの状態になります。再度クリックすると測位を終了します。

**[GPS モニタを開く]ボタン**
GPS モニタを表示します。GPS モニタを表示中にはボタンがクリックされたままの状態になり、再度クリックすると GPS モニタを閉じます。（58 ページ参照）

**[位置プロットを開く]ボタン**
位置プロットを表示します。位置プロットを表示中にはボタンがクリックされたままの状態になります。再度クリックすると位置プロットを閉じます。（64 ページ）

**[GPS アプリケーション起動を開く]ボタン**
GPS アプリケーション起動を表示します。GPS アプリケーション起動を表示中にはボタンがクリックされたままの状態になり、再度クリックすると、GPS アプリケーション起動を閉じます。（79 ページ参照）



**[終了]ボタン**
GeoSeek GPS を終了します。

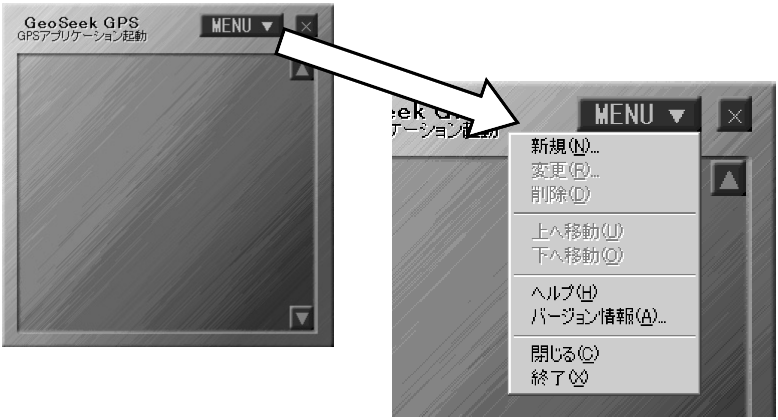
**[装置設定]ボタン**
装置設定画面を表示します。
（69 ページ参照）

**[共通設定]ボタン**
共通設定画面を表示します。
（84 ページ参照）

**[軌道コントローラを開く]ボタン**
軌道コントローラを表示します。（82 ページ参照）

## GPS アプリケーション起動を開く

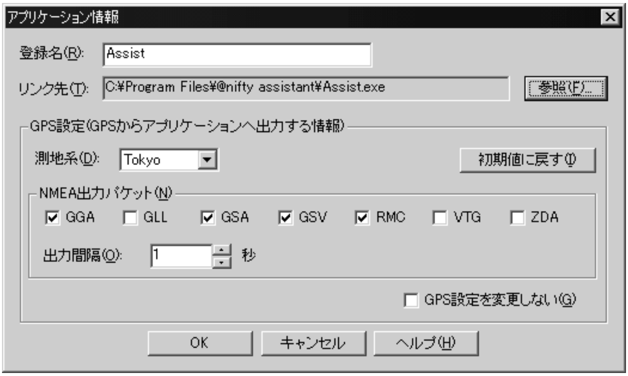
GPS アプリケーション起動では、登録しておいたアプリケーションをダブルクリックで起動することができます。
登録したアプリケーションには、あらかじめ GPS カードの測地系や NMEA を設定しておくことができます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 新規 | アプリケーションを新規登録します。ファイル選択画面が表示されますので、アプリケーションの実行ファイルを選択します。アプリケーション情報は、初期設定の値が設定されます。 |
| 変更 | アプリケーション情報画面（次ページ参照）が表示され、登録済みのアプリケーション情報を変更できます。 |
| 削除 | 登録済みのアプリケーションを削除します。 |
| 上へ移動/下へ移動 | 登録済みのアプリケーションの表示順を変更します。 |
| ヘルプ | ヘルプを表示します。 |
| バージョン情報 | バージョン情報を表示します。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 閉じる | GPS アプリケーション起動を閉じます。GeoSeek GPS は、そのまま常駐し、タスクバーの GeoSeek GPS アイコンも表示されたままになります。 |
| 終了 | GeoSeek GPS を終了します。 |

● アプリケーション情報画面




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 登録名 | GPS アプリケーション起動に表示されるアプリケーション名を入力します。新規登録時は指定したファイルの名称が設定されます。 |
| リンク先 | アプリケーションの起動ファイルを表示します。変更する場合は、右側の［参照］ボタンをクリックします。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 測地系 | アプリケーションで使用する測地データの測地系を選択します。「Tokyo」または「WGS-84」のどちらかを選択できます。<br>新規登録時は多くのアプリケーションが動作する標準値が設定されます。通常は標準値をご使用ください。アプリケーションで使用する測地系については、アプリケーションの取扱説明書等を参照してください。 |
| NMEA 出力パケット | 測地データの出力種別を選択します。新規登録時は多くのアプリケーションが動作する標準値が設定されます。NMEA に対応したアプリケーションでは、標準値をご使用ください。アプリケーションで使用する NMEA パケットについては、アプリケーションの取扱説明書等を参照してください。<br><br>GGA ………GPS 測位データ<br>GLL ………位置（緯度、経度）<br>GSA ………GPS の DOP と測位に使用した衛星<br>GSV ………受信可能な衛星<br>RMC ………時刻、位置、速度、方位<br>VTG ………速度、方位<br>ZDA ………時刻、日付<br>出力間隔…NMEA パケット出力間隔を設定します。設定できる範囲は、1～60 秒です。 |
| 初期値に戻す | 測地系、NMEA 出力パケットの設定を初期値に戻します。 |
| GPS 設定を変更しない | このチェックボックスがチェックされている場合は、アプリケーションの実行時に、GPSカードの設定値を変更しません。 |

# 軌跡コントローラを開く

測位中に移動した軌跡の記録・再生を行います。
軌跡情報は軌跡ファイルに保存されるため、軌跡の記録、再生を行うときは、必ず軌跡ファイルを開いてから行います。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 再生 | 先頭または一時停止した位置から軌跡を再生します。最後まで再生すると、先頭に戻り、停止します。再生している場合、[記録]ボタンは使えません。 |
| 記録 | 先頭から軌跡の記録を開始します。記録済みの軌跡ファイルに記録する場合は、ファイルの末尾から記録されます。記録している場合、[一時停止]、[先頭へ移動]、[巻き戻し]、[末尾へ移動]ボタンは使えません。 |
| 一時停止 | 軌跡の再生を一時停止します。一時停止している場合、[記録]ボタンは使えません。 |
| 停止 | 軌跡の記録・再生を停止し、軌跡の先頭に戻ります。 |
| 先頭へ移動 | 軌跡の先頭に戻ります。 |
| 巻き戻し | ボタンをクリックし続けた分だけ軌跡を後戻りします。 |
| 早送り | ボタンをクリックし続けた分だけ軌跡の先の方に進みます。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 末尾へ移動 | 軌跡の末尾に移動します。 |
| 現在位置表示バー | 表示されている軌跡の現在地を表示します。 |
| 再生速度表示ボックス | 現在の再生速度を表示します。 |
| 再生速度変更ボタン | 再生速度を変更します。再生速度は以下の速度から選択できます。<br>1/8・1/4・1/2・1・2・4・8・15・30・60 倍速 |

以下の項目は、[軌跡コントローラ]を右クリックし、表示されるメニューの[位置情報表示]をチェックすると表示されます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 方位表示 | 画面上側が移動している方向として、現在、記録または再生している位置情報の方位を表示します。 |
| 緯度・経度 | 現在、記録または再生している位置情報の緯度・経度を表示します。 |
| 測位次元情報 | 現在、記録または再生している位置情報の測位次元を表示します。<br>緯度・経度が計測可能…………[2D]と表示<br>緯度・経度・高度が計測可能…[3D]と表示<br>測位できない状態………………[測位待ち]と表示 |
| 高度 | 現在、記録または再生している位置情報の高度を表示します。 |
| 速度 | 現在、記録または再生している位置情報の移動している速度を表示します。 |
| 日時 | 現在、記録または再生している位置情報の日時を表示します。 |

## 共通設定

起動時の設定とダイアログの色を設定します。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 起動時に GPS モニタを表示する | チェックボックスをチェックすると、GeoSeek GPS の起動時に GPS モニタを表示します。 |
| ダイアログの色 | GPS モニタ、位置プロット、GPS アプリケーション起動の色を設定します。赤、青、紫、緑、黄、灰色のいずれかから選択できます。 |

# 4 ふろく

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。


## 困ったときには　86 ページ

うまく取り付けできない場合や、思ったように動作しないときなどにご参照ください。なお、ここには「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」の操作上の疑問などは書いてありません。「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA」のオンラインマニュアルをご参照ください。

## ハードウェア仕様　99 ページ

本製品の基本仕様を説明してあります。

## 用語解説　100 ページ

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

# 困ったときには

## 取り付けから動作確認まで

| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| PC カードドライバの確認で、「PC カードドライバがインストールされていません」と表示される。または、コントロールパネルの中に「PC カード(PCMCIA)」アイコンが存在しない。 | 88 |
| Windows CE 機でデバイスが認識されない、もしくはデバイスが「#」になっている。 | 88 |
| 防磁板が外付け GPS アンテナから外せない。 | 88 |
| CFGPS をパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない。 | 89 |
| 本書で説明してあるインストール画面と、実際に表示される画面が全く異なる。 | 89 |
| デバイスマネージャ画面で「I-O DATA CFGPS」が表示されない。 | 89 |
| デバイスマネージャ画面で「I-O DATA CFGPS」の先頭に「！」マークが表示されている。 | 90 |
| CFGPS を取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された。 | 92 |

## ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA 使用時

| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| 「電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳの CD-ROM が入っていません」と表示されて、起動できない。 | 93 |
| 接続ポートがわからない。 | 93 |
| [接続]ボタンをクリックしてから数分経っても、現在位置が表示されない。 | 93 |
| 現在位置が実際の位置とずれている。 | 94 |
| 移動しているが、現在位置が動かない、または消えた。 | 94 |
| オンラインマニュアルを起動すると「ファイルを開くアプリケーションの選択」画面が表示される。 | 95 |

※ 本書では GPS 機能のみのトラブルについて説明しています。GPS 機能以外のことについてはゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA のオンラインマニュアルをご参照ください。

## GeoSeek GPS 使用時

| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| 「GPS エンジンの起動に失敗しました」と表示される。 | 95 |
| 「GPS エンジンの接続に失敗しました」と表示される（Windows Me/98)。 | 96 |
| 起動してから数分経っても、現在位置が表示されない。 | 96 |
| メニューやボタンをクリックしても、プルダウンが表示されなかったり、次のダイアログが表示されない。 | 97 |
| 表示される GPS 衛星の個数が少ない。 | 97 |
| 動作状況表示が２Ｄになっている。 | 97 |
| 高度計が表示されない。 | 97 |
| ランドマーク方位計や残距離が表示されない。 | 98 |
| 移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない。 | 98 |

# 取り付けから動作確認まで

### PCカードドライバの確認で、「PCカードドライバがインストールされていません」と表示される。または、コントロールパネルの中に「PCカード(PCMCIA)」アイコンが存在しない。

PC カードスロットのないパソコン（DOS/V、PC98-NX シリーズ）である。

PC カードスロットのないパソコン（DOS/V、PC98-NX シリーズ）では、本製品は使用できません。

PC カードドライバがインストールされていない。

拡張ボードなどで増設した場合は、ボードの取扱説明書をご参照になり、正しくインストールしてください。
購入時から PC カードスロットが付いていた場合は、購入した販売店へお問い合わせください。

### Windows CE 機でデバイスが認識されない、もしくはデバイスが「#」になっている。

PC カードドライバがインストールされていない。

本体メーカーからドライバを入手してインストールしてください。

### 防磁板が外付け GPS アンテナから外せない。

外付け GPS アンテナ底面の磁石が強力である。

防磁板をスライドさせるように取り外してください。磁石が強力なため、引っ張って取り外そうとすると相当な力が必要です。

## CFGPS をパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない。

CFGPS がしっかりと挿入されていない。

ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

CFGPS の表裏が逆になっている。

CFGPS のラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

すでにインストール済みである。

一度インストールすると、次からはインストール画面は表示されません。29 ページ「インストール終了後の確認（Windows Me/98)」(Windows 2000 の場合は 35 ページ「インストール終了後の確認（Windows 2000)」）を行って、「I-O DATA CFGPS」が表示されれば、すでにインストール済みです。そのままお使いください。

## 本書で説明してあるインストール画面と、実際に表示される画面が全く異なる。

参照するページが違っている。

インストール画面の内容や手順は、ご使用の環境によって異なります。本書ではご使用の環境ごとにインストールの説明を分けてあります。ご使用の環境に合ったページをご参照ください。

Windows Me をご使用の場合：22 ページ「Windows Me へインストールする」
Windows 98 をご使用の場合：25 ページ「Windows 98 へインストールする」
Windows 2000 をご使用の場合：31 ページ「Windows 2000 へインストールする」

## デバイスマネージャ画面で「I-O DATA CFGPS」が表示されない。

CFGPS がしっかりと挿入されていない。

ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

CFGPS の表裏が逆になっている。

CFGPS のラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

## デバイスマネージャ画面で「I-O DATA CFGPS」の先頭に「！」マークが表示されている。

リソースが競合している。

下記の手順を実行し、リソースを確認します。

●Windows Me/98 の場合

**1** [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

**2** [コンピュータ]が選択された状態で、[プロパティ]ボタンを押します。

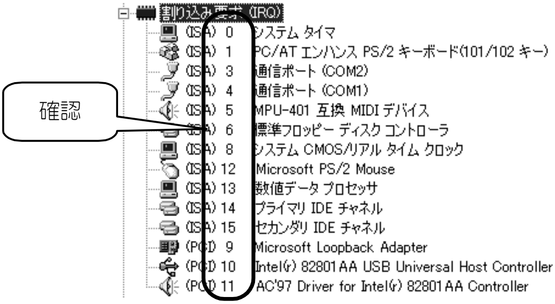
**3** IRQ（割り込み要求）の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します（下記は空きのない例）。

●Windows 2000 の場合

**1** [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[ハードウエア]タブをクリックします。

**2** [デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。[表示]→[リソース（接続別）]をクリックします。

**3** [割り込み要求（IRQ）]をダブルクリックし、[割り込み要求（IRQ）]の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します。




・IRQ の空きがない場合

使用していない何らかの機能を無効にし、空きのある状態にします。

CFGPS を抜き、もう一度差し込んでください。

（無効にできる機能に関してはパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーでご確認ください。）

・IRQ の空きがある場合
実際は内部で使用されている場合があります。他の割り込みを使用する PC カードをお使いの場合は、その PC カードが使用可能かどうか、確認してみてください。

**CFGPS を取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された。**

決められた手順で CFGPS を終了させる前に、CFGPS を取り外した。

CFGPS は決められた手順にしたがって、取り外してください。取り外し方は 38 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows Me/98)」(Windows 2000 の場合は、40 ページ「パソコン起動中に取り外すには（Windows 2000)」）をご参照ください。
正しい手順で取り外さないと予期しない障害が発生する可能性があります。

# ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA 使用時

## 「電子地図帳Ｚ[zi:]ⅣのCD-ROMが入っていません」と表示されて、起動できない。

ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATAのCD-ROMをセットしていない。

インストール後も、ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATAを起動するにはCD-ROMが必要です。CD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
または、データインストールユーティリティで地図データをインストールしてください。

## 接続ポートがわからない。

—

画面右下のタスクバーにある[PCカード]アイコンをクリックすると、[I-O DATA CFGPS(COM＊)の中止]と表示されます。この中のCOM＊に当たる番号が接続ポートです（＊の番号はご使用の環境によって異なります）。

## [接続]ボタンをクリックしてから数分経っても、現在位置が表示されない。

CFGPSがしっかりと挿入されていない。

画面右下のタスクバーに[PCカード]アイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合はいったんCFGPSを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。
[PCカード]アイコンをダブルクリックして、[I-O DATA CFGPS(COM＊)]と表示されることを確認してください。表示されない場合はいったんCFGPSを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。

接続ポートの指定が正しくない。

48ページの操作 5 および 6 を参照して、接続ポートを設定してください。

GPS アンテナの位置が測定不可能な位置である。

CFGPS 本体だけでご使用の場合は、18 ページ「外付け GPS アンテナを取り付ける」を参照し、外付け GPS アンテナを取り付けてください。すでに外付け GPS アンテナを取り付けている場合は、外付け GPS アンテナの位置を確認してください。車内に取り付けた場合は車外に取り付けてみてください。
GPS 衛星からの電波を遮るような高い建物や樹木の陰では受信できない場合がありますので、場所を移動するなどして確認してください。
なお、最初の測位では、[GPS/PHS] ボタンをクリック後、ウォームアップ動作をしますので、正確な測位に時間がかかります。待ち時間が数分程度なら問題はありません。

GeoSeek GPS など CFGPS を使用する他の地図ソフトがすでに起動している。

CFGPS を使用する他の地図ソフトを複数同時に起動した場合、正常に動作しません。ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]Ⅳ for I-O DATA 使用時は事前に他のアプリケーションを終了してください。

## 現在位置が実際の位置とずれている。

GPS 衛星からの測定誤差が大きい。

GPS 衛星からの電波は最悪の場合で数百メートルの誤差があります。故障ではありません。13 ページ「GPS 衛星による測定誤差について」をご参照ください。
また、念のため 60 ページ「動作に異常がある場合は初期化」の作業もお試しください。

## 移動しているが、現在位置が動かない、または消えた。

[自動更新間隔] が長すぎる。

[GPS を利用する] アイコン（48 ページ参照）をクリックすると、[自動更新間隔] が指定できます。高速移動中で更新間隔が長いと現在位置がなかなか更新されず、動かないように感じられます。必要に応じて [自動更新間隔] を設定してください。

GPS 衛星からの電波が受信できない場所へ移動した。

受信できない場所に移動すると、現在位置マークが消えます。受信できる場所に移動するとまた表示されるようになります。

## GeoSeek GPS 使用時

### 「GPS エンジンの起動に失敗しました」と表示される。

| | |
|---|---|
| | CFGPS がしっかりと挿入されていない。 |
| | 画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合はいったんカードを抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。<br>[PC カード]アイコンをダブルクリックして、[I-O DATA CFGPS(COM＊)]と表示されることを確認してください。表示されない場合はいったん CFGPS を抜き、もう一度、きちんと差し込んでください。<br>確認後、GeoSeek GPS を再起動してください。 |

| | |
|---|---|
| | CFGPS を使用するゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA 以外の地図ソフトがすでに起動している。 |
| | ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA 以外の地図ソフトを終了してください。 |

## 「GPS エンジンの接続に失敗しました」と表示される（Windows Me/98)。

| | |
|---|---|
| | CFGPS のリソース設定に問題がある。 |
| | 次の手順でリソースを変更してみてください。 |

1 ［マイコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックし、［デバイスマネージャ］タブを開きます。

2 ［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして、［CFGPS］をクリック後、［プロパティ］をクリックします。

3 ［リソース］タブを開き、自動設定のチェックを外します。

4 「基本設定・・・」を他のものに変更します。
（一度本手順を行っても改善されないようであれば、再度、本手順を行い、その際ここでは他の「基本設定・・・」を選択してください。）

5 ［OK］ボタンをクリックし、［デバイスマネージャ］を終了し、Windows を再起動します。

6 GeoSeek GPS を起動し、接続の確認を行います。

## 起動してから数分経っても、現在位置が表示されない。

| | |
|---|---|
| | GPS アンテナの位置が測定不可能な位置である。 |
| | CFGPS 本体だけでご使用の場合は、18 ページ「外付け GPS アンテナを取り付ける」を参照し、外付け GPS アンテナを取り付けてください。すでに取り付けている場合は、外付け GPS アンテナの位置を確認してください。車内に取り付けた場合は車外に取り付けてみてください。<br>GPS 衛星からの電波を遮るような高い建物や樹木の陰では受信できない場合がありますので、場所を移動するなどして確認してください。 |

| | |
|---|---|
| | コールドスタート、またはカード初期化後、最初の測定である。 |
| | 最初の測定には時間がかかります。測位を停止せずにそのままお待ちください。 |

## メニューやボタンをクリックしても、プルダウンが表示されなかったり、次のダイアログが表示されない。

| | |
|---|---|
| | リアルタイム受信に時間がかかっている。 |
| | GeoSeek GPS は GPS 電波をリアルタイムで受信しているため、ご使用のパソコンによっては受信中にメニューやボタンを押しても反応が遅れる場合があります。しばらくお待ちください。 |

## 表示される GPS 衛星の個数が少ない。

| | |
|---|---|
| | ― |
| | アンテナ設置場所により受信できる衛星の個数は異なります。現在位置が表示されていれば特に問題はありません。 |

## 動作状況表示が２Ｄになっている。

| | |
|---|---|
| | ３Ｄ測位ができない。 |
| | アンテナ設置場所により、３Ｄ測位（緯度、経度、高度）ができない場合があります。その場合は自動的に２Ｄ表示に切り替わります（高度なし）。<br>[CFGPS プロパティ]→[基本設定]タブの[動作次元]で[２Ｄ]とした場合は、３Ｄ測位ができる場所でも２Ｄ表示になります。初期値は[自動]です。 |

## 高度計が表示されない。

| | |
|---|---|
| | ３Ｄ測位ができない。 |
| | アンテナ設置場所により、３Ｄ測位（緯度、経度、高度）ができない場合があります。その場合は２Ｄ測位となり、高度計に高度は表示されません。<br>[CFGPS プロパティ]→[基本設定]タブの[動作次元]で[２Ｄ]とした場合は、３Ｄ測位ができる場所でも２Ｄ表示になります。初期値は[自動]です。 |

## ランドマーク方位計や残距離が表示されない。

| | |
|---|---|
| | ランドマークの指定がされていない。 |
| | ランドマーク方位計や残距離は、ランドマークの位置を登録し、そのランドマークを有効に指定しておかないと表示されません。<br>ランドマーク機能の使い方は63ページ「特定の場所への距離や方向を知るには」をご参照ください。 |

## 移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない。

| | |
|---|---|
| | GPSからの電波を受信できない場所へ移動した。 |
| | 受信できない場所に移動すると、最後に測定した現在位置の情報などがそのまま表示されたままになります。受信できる場所に移動するとまた表示されます。 |

# ハードウェア仕様

## ■ CFGPS

| | |
|---|---|
| 型式番号 | CFGPS |
| インターフェース | CF+™ TypeⅡ準拠 |
| 受信周波数 | 1575.42MHz（C/A コード） |
| 受信方式 | マルチチャンネル（８チャンネル）<br>８コリレータ、連続捕捉 |
| 受信精度 | -130dBm 以下（外付け GPS アンテナ使用時） |
| 測位更新時間 | 約１秒毎（可変） |
| 入出力データフォーマット | NMEA-0183<br>（RTCM-SC104 プロトコル：DGPS 対応） |
| 測地・座標系 | Tokyo 測地系（初期設定）<br>WGS-84 測地系 |
| 測位精度 | 25mCEP（50%）（SA OFF） |
| 速度精度 | 0.1m/秒（SA OFF） |
| 使用温度範囲 | +0℃～+40℃ |
| 使用湿度範囲 | 10%～80%（結露なきこと） |
| 電源電圧 | DC 5.0V ± 5%、3.3V ± 5% |
| 消費電力 | 最大値 300mW |
| 外形寸法（H×W×D） | 約 18×52×83（mm） |
| 質量 | 約 45g |
| 外付け GPS アンテナ<br>ケーブル長 | 約 3m |

## ■ CFMD-ADP

| | |
|---|---|
| 型式番号 | CFMD-ADP |
| 質量 | 24g |
| 外形寸法 | 54.0（W）×85.6（L）×5.0（T）mm |
| 動作温度 | -20℃～60℃ |
| 動作湿度 | 95%以下（結露しないこと） |
| 保存温度 | -40℃から 70℃ |
| 保存湿度 | 95%以下（結露しないこと） |

※CFMD-ADP は、マイクロドライブ専用 PC カードアダプタですが、CFGPS 用 PC カードアダプタとしてもご使用いただけます。

# 用語解説

## GPS（ｼﾞｰﾋﾟｰｴｽ）（*Grobal Positioning System*）

24 個の衛星と地上の制御局を利用して利用者の現在位置を測定するシステム。４つ以上の衛星からの電波到着時間の差によって、現在位置を測定する。メートル単位の測定が可能。
本来は軍事用に開発されたシステムであるが（GPS 衛星は米国国防省が管理）、最近では地学の研究やカーナビゲーションシステムなどに用いられるようになった。

## コンパクトフラッシュ

米国 SanDisk 社のフラッシュメモリ技術を利用して開発されたフラッシュメモリカード。デジタルカメラや、ハンドヘルド PC 等を中心に利用されている。PCMCIA スロットに対しては、データ信号で互換性があり、専用のアダプタを使用するだけでつなぐことができる。

## PC カード（ﾋﾟｰｼｰｶｰﾄﾞ）

主にノートパソコンで使用される機器拡張用の周辺機器。米国の PCMCIA という団体と、JEIDA（日本電子工業振興会）が共同で規格化を行っている。TypeⅠから TypeⅢまであり、数字が大きいほど、カードとスロット（差しこみ口）が厚くなる。本製品は TypeⅡ対応なので、TYPE Ⅰのみ対応のスロットには挿入できない（TypeⅡ、Ⅲなら OK）。

## COM ポート（ｺﾑﾎﾟｰﾄ）

パソコンと周辺機器をつなぐシリアルインターフェース。主にモデムや赤外線通信機器などの通信系機器を接続する。COM ポートはシステム側で自動的に番号が割り当てられてられる(COM1、COM2 など)。この番号を COM 番号（または COM ポート番号）と呼ぶ。COM ポートに割り当てられた機器をアプリケーションで使用するときは、この COM 番号を指定する必要がある。

# サポートセンターへのお問い合わせ

## ■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、CFGPSサポートソフトのシリアルNo.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

## ■オンライン

**インターネット**　　http://www.iodata.co.jp/support/

## ■郵便

**〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**サポートセンター「CFGPS」係　宛 もしくは**
**サポートセンター「CFMD-ADP」係　宛**

## ■電話

| | | |
|---|---|---|
| **電話番号** | **本社** | **076-260-3646** |
| | **東京** | **03-3254-1036** |
| **受付時間** | **9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)** | |

■FAX

| | | | |
|---|---|---|---|
| **FAX 番号** | | **本社** | **076-260-3360** |
| | | **東京** | **03-3254-9055** |
| **宛先** | **株式会社アイ･オー･データ機器** | | |
| | | **サポートセンター｢CFGPS｣係　宛　もしくは** | |
| | | **サポートセンター｢CFMD-ADP｣係　宛** | |

・本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。
・ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA に関するお問い合わせは、（株）ゼンリン宛に行ってください。（56 ページ参照）

# 保証について

## ■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

## ■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

# サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

## ●オンライン

**インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」**

## ●サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

**住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目84番地**
**アイ・オー・データ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「CFGPS」サービス窓口　宛**
**電話番号　076-260-3663**
**受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**

## ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サービス窓口ではお受けできません。

# 修理について

**弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいますようお願い致します。**

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

## ■修理品送付先

**住所　〒920-8513**
**石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ・オー・データ第2ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器**
**「CFGPS」修理係　宛 もしくは**
**「CFMD-ADP」修理係　宛**

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

## ■修理品納期問い合わせについて

**受付窓口　「CFGPS」サービス窓口、もしくは「CFMD-ADP」サービス窓口**
**電話番号　金沢　076-260-3663**
**受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

CFGPS 取扱説明書
2001.Aug.10 94064-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地
© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

## 「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA」に関するお問い合わせ

*お問い合わせ先*


**株式会社ゼンリン**
**ユーザーサポートセンター**

*郵便* 〒101-0065
**東京都千代田区西神田1-1-1**
**オフィス21ビル6F**

*電話* **03-5259-5064**

*FAX* **03-5259-5073**

*E-mail* **support@zenrin.co.jp**


*・受け付け時間*

毎週月曜日～金曜日

10:00～12:00/13:00～17:00

※祝日・夏期休暇・年末年始などゼンリン社休日はお休みとさせていただきます。

※上記へお問い合わせする際には、以下をメモした上で、お問い合わせください。

1. お客さまのお名前/ご住所/お電話番号
2. 製品名　（ゼンリン電子地図帳Z[zi:]Ⅳ for I-O DATA）
3. 製品のシリアルNo.
   添付の[ゼンリン ユーザー登録カード]に記載されている番号（16桁の英数字）
4 ご使用パソコンの本体メーカー/機種
5 ご使用Windows OSの種類/バージョン
6 ご使用プリンタのメーカー/機種（印刷に関するご質問の場合）
7 お問い合わせの内容